キングジム
CSRレポート・会社案内
2009

KING JIM

KING JIM
株式会社キングジム
東京都千代田区東神田二丁目10番18号　〒101-0031

この報告書は、FSC認証紙、VOC（揮発性有機化合物）成分ゼロの100%植物性インキ、
印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷を採用しています。

色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすいように配慮して作成し、
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認証を取得しています。

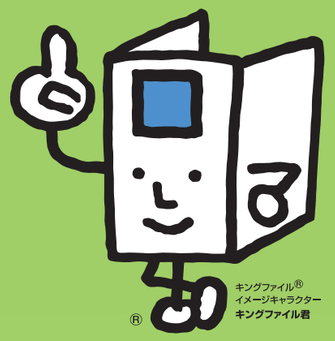
発行:2009年9月

ユーザーとの信頼をつなぐ
キングジムのブランド

ブランドはユーザーとメーカーを結ぶ信頼の架け橋です。

KING JIM

「キングジム」の社名は、「事務の王様」の意味が込められています。四角い「スクエア・パターン」は、「キングファイル」の背表紙デザインを表しています。



キングファイル

「日本のオフィスの風景を変えた」とまで言われる「キングファイル」は、パイプ式ファイルでシェアナンバーワンのブランド（矢野経済研究所調べ）です。オフィスでもっともスタンダードなファイルとして広くご活用いただいています。

TEPRA

1988年に発売された「テプラ」は、ラベルを簡単に印刷できる「ラベルライター」として大ヒットし、さまざまな用途で活躍しています。

デジタルメモ「ポメラ」

pomera

2008年に発売した「ポメラ」は、コンパクトでスピーディーな文字入力に優れたデジタルツール。「多機能」なパソコンとは一線を画す、「デジタルメモ」という新しいジャンルを作ったブランドです。

Toffy®

キュートでポップな雑貨感覚が人気の「Toffy」シリーズ。ステーショナリーだけでなく、デジタルフォトプレイヤーやアロマディフューザー等、多彩に展開中。

スキットマン®

収納するモノを特定して用途に合った機能とデザインを追求した、家庭向けファイルシリーズ。
「スキットマン」は、"収納物をスキッと整理する"という意を表しています。ユーザーの視点で特定の収納物に合わせた使いやすいデザインが特長です。

CONTENTS

キングジムのブランド
トップインタビュー 2
トピックス 4
イノベーション&デザイン 6
顧客に対する価値の提供 12
環境経営の推進 18
環境を意識した商品の取組み 24
従業員の尊重 28
広報・IR 32
社会とともに 34
マネジメント 36
第三者コメント 39
会社案内 40

編集方針 お読みいただくにあたって

キングジムグループは、2006年度から「CSR報告書」の発行を開始し、キングジムグループが行っているCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）にかかわる活動を、ご報告してまいりました。

2008年度からは、主要財務データ・国内外ネットワークなどを掲載した「会社案内」と統合し、名称を「CSRレポート・会社案内」として発行しています。なお、今年度版は読者の皆様がより読みやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮しています。

「CSRレポート」部分の編纂に関しては、特に以下の点に配慮いたしました。記述項目は、以下のガイドラインの項目を参考に、網羅的に配慮しつつ厳正に選定し、当社グループの状況を記載しております。

- 「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」（GRI）
- 「社会的責任（CSR）経営自己評価シート」（経済同友会 2005年）
- 「環境報告ガイドライン 2007年版」環境省
- 「環境会計ガイドライン 2005年版」環境省

対象期間 記述の対象期間は、2009年度（2008年6月21日～2009年6月20日）の内容を中心としております。ただし、ご理解を深めていただく必要に応じて、この期間の前後の内容についても記述しております。

対象範囲 キングジムグループ全体に関する内容を主としておりますが、株式会社キングジムに限定した記述に関しては、「キングジム」と明示し、「キングジムグループ」と区別しております。

- 当レポートの内容は、キングジムのホームページでも公開しております。
  http://www.kingjim.co.jp/

- お問合せ先
  株式会社キングジム 広報部
  mail webmaster@kingjim.co.jp
  TEL 03-3864-7073
  FAX 03-3864-9258

独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する

株式会社キングジム
代表取締役社長　宮本 彰

Q キングジムはどんな企業ですか?

独創的な商品を提供する、情報整理用品のメーカーです。

オフィスでご愛用いただいている「キングファイル」などのファイル関連商品に加え、ラベルライターの「テプラ」や、デジタルメモ「ポメラ」などの電子文具でご存知の方も多いと思います。

オフィス向けのファイルからスタートした会社ですので法人向け商品の比率が7割以上と高いのですが、近年は個人向けの商品にも力を入れ、グループ会社も含めたキングジムグループとして、「雑貨」ジャンルの商品も積極的に販売しています。

もともと創業者である私の祖父が、ファイルの発明家でした。「人と同じ事をしていては面白くない」という考えの人でしたから、独創的であることは、キングジムの企業としてのDNAかもしれません。

キングジムの代表的な商品「キングファイル」「テプラ」は、まさにこのような独創的な商品です。発売当初はそれまでになかったタイプの商品でしたから、お客様に受け入れていただけるか、大きなチャレンジでした。結果として、追随する競合商品も含めて、新しい市場を作ることが出来ました。

Q デジタルメモ「ポメラ」が最近話題になっていますね?

「ポメラ」は、2008年11月に発売しましたが、当初の予想を大きく上回る人気となり、発売と同時に品切れとなりました。ポメラは、文庫本サイズの本体にノートパソコン並のキーボードを折りたたんで収納しています。キーボードを開いて電源を入れると、2秒で起動し、すぐに入力が可能です。乾電池で、20時間も使い続けられます。メールもインターネットも出来ませんが、「何でも出来る」という複合型デジタル機器とは逆の発想で、「快適に書くこと」だけに特化したツールです。ユーザー様からは「こんなものを待っていた」という声が多く、シンプルで潔いコンセプトが受け入れられたものと思っています。

Q キングジムにとってCSRとは何ですか?

当社の経営理念は「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」というものです。当社のようなメーカーにとっては、自社製品がユーザー様、ひいては社会のお役に立つ、ということが使命であり、会社の経営目的もそこにあります。

また、当社は「会社は社会の公器である」という考えで経営してまいりましたので、2001年に株式を上場し、2005年には東京証券取引所の市場第一部に指定していただきました。この過程で、お客様や従業員に加え、株主様や社会全体に対する責任の大きさ、それに見合った透明性の高い経営に取り組むことの重要さを認識してまいりました。

特に環境問題に関しては、1991年から社内横断的な「エコロジープロジェクト」を立ち上げ、1998年には「環境憲章」を作り、二つの方向から環境問題への取り組みを進めてきました。一つは自社の商品について、開発段階から環境へのインパクトに配慮した素材選定、分別廃棄、リユース、リサイクルを可能にする仕組み作りです。また一方では、事業活動そのものの環境への負荷についてもマテリアルフローや環境会計を取り入れ、実情を把握し、環境負荷の削減に努めています。

CSR=企業の社会的責任をまっとうするためには、当社の場合、経営理念を忠実に実行し、なおかつ、ステークホルダーの皆様に対して、組織としての透明性を保つことにあると思います。

Q 近年の経営課題について教えてください。

近年、文具事務用品の分野においては、需要構造の変化と顧客ニーズに対応するために、製造拠点のアジアグローバル化が進行しています。すでに当社はインドネシアとマレーシアにファイル関連の生産工場がありますが、これに加え、2009年度よりベトナムで、主に「キングファイル」を生産する工場を本格稼働いたしました。これに伴い、海外に生産を集約、移管いたします。

また、リーマンショック以降の世界不況の波は、文具事務用品市場にも、大きな影響が及んでいます。特に法人需要の低価格志向が、市場の価格競争を激化させています。当社はこのような市場環境の中で、製造拠点の移転によるコストダウンなどの対策をとりつつ、これまで以上に新製品開発に積極的に取り組んでおります。また、法人向け需要以外に、個人向けの商品や、文具に隣接する雑貨分野の商品にも、進出してまいります。

Q ステークホルダーへのメッセージをお願いします。

企業の信頼は、お客様=市場からの支持だけでなく、社会において責任ある行動をとっているか、という基本があってこそ成立します。このような観点から、昨年より会社案内を、CSRレポートと統合し、発行することにいたしました。当社のCSRについてお話しすることが、当社の実情をもっともよくご理解いただけると考えたからです。いたらない点も多いと思いますが、忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

創業から80年以上、キングジムは「世の中のお役に立つ製品を作る」という高い志を持って経営に邁進してまいりました。この冊子を通じて、キングジム製品をご愛用いただいているお客様、株主様や地域社会の皆様、そしてこれまでキングジムをご存知なかった皆様にも、キングジムグループを身近に感じていただければ幸いです。ありがとうございました。

Topics

▲▼「ポメラ」メディア向け発表会

デジタルメモ「ポメラ」を発売

デジタルメモ「ポメラ」は、「キーボードで文字を書くこと」に特化した新概念のデジタルツールとして、2008年11月に発売いたしました。

「ポメラ」は、文庫本サイズの本体に、折りたたみ式キーボードを搭載。ノートパソコン並みの入力のしやすさを実現しました。電源を入れてから約2秒の速さで起動し、すぐに文章入力することができます。

発売直後から、インターネット上で大反響を呼び、市場になかった新ジャンルの商品としてロコミが広がりました。

2009年1月には、㈱BCNの選定による、製品のデザイン性・話題性・機能性などを選定条件とした「BCN Best Product」、3月には、世界的に権威のあるドイツのデザイン賞「レッドドット デザインアワード（reddot design award）」、7月には、「第18回日本文具大賞」を受賞いたしました。

キングジムでは、現在「デジタルメモ」という新たな市場を構築する積極的な活動を展開しております。

BCN Best Product 2009

機能部門 優秀賞 第18回 日本文具大賞 2009 ISOT 国際 文具・紙製品展

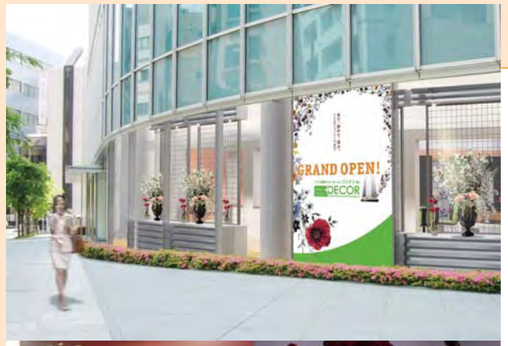
reddot design award honourable mention 2009

キングジム・ベトナム本格稼働

キングジム・ベトナム（KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.）は、2009年度より本格稼働を始めました。

文具事務用品業界における需要構造の変化と顧客ニーズに対応するために、日本国内生産から海外生産への移管・集約による生産体制の再構築の一環として2007年にキングジム・ベトナムを設立。ベトナム南部のビンズン省のミーフック工業団地内の広大な工場で、主力商品であるキングファイルなど事務用ファイルを主に生産しています。2008年の操業開始後、生産設備の導入や人員の拡大が順調に進み、生産品種・生産量を順次拡大させています。

当面は日本市場への輸出が中心となりますが、生産性や品質をさらに向上させ、将来的にはファイル市場の成長がさらに見込める中国を含めたアジア諸国向けの製造拠点を目指しています。こうして、キングジムのグローバル化がますます加速していきます。



アスカ商会 東京ショールーム開設

株式会社アスカ商会は、アーティフィシャル・フラワー（造花）やクリスマスデコレーション、インテリア雑貨の輸入・企画・販売を行っており、2008年にキングジムグループ会社となりました。アスカ商会は、創業以来、本社周辺である、名古屋から関西地区を中心に、花材流通業界、店舗装飾業界などを主な販売チャネルとして、業務用造花の企画・販売を行ってまいりました。2009年10月、更なる販売拡大と認知向上を目指し、東京にショールームを開設することになりました。

東京ショールーム「アン・デコール」は、JR代々木駅から徒歩3分とアクセスが良く、トレンドに敏感な人々が多く集まる地域にオープンします。

フロアは、一面が総ガラス張りで、シーズンやトレンドに合わせてascaブランドの商品を展示するディスプレイスペースや、ユーザーが情報交換の場として利用できるコミュニティスペースを設置いたします。

今後、株式会社アスカ商会では、東京ショールームを新たなビジネスとPRの拠点に加えて、グレードの高いインテリアスペースのご提案を行ってまいります。

イノベーション&デザイン

顧客と社会への貢献となるような新商品の開発を目指します。

「ポメラニアン」になりませんか?

デジタルメモ「ポメラ」は、2008年11月に発売された、「キーボードで快適に書くこと」だけに特化したデジタルツールです。複合的機能が満載された現在の電子機器の中で、その正反対の「単機能」のコンセプトが評価され、予想以上の人気商品になりました。「ポメラ」のユーザーはネット上の書き込みなどで「ポメラニアン」と呼ばれています。「ポメラ」のような、ユニークな商品を生み出す経営や企業風土に対して、マスコミからの取材を多く受けました。キングジムでは、商品開発において、開発者の優れた発想を尊重する、創業以来の自由闊達な社風が受け継がれています。

<左から>
電子文具開発部 開発二課長 安蒜 康英、立石 幸士、佐藤 賢亮

イノベーション=製品価値の創造

キングジムの創業者である発明家・宮本英太郎の口癖は「人と同じ事をしたら楽しみがない」でした。1927年に彼の考案した「人名簿」からスタートしたキングジムの製品群は、それまで世の中になかったユニークな製品を送り出してきました。今も日々新しいイノベーションを続けています。

宮本英太郎

1893-1975　キングジム創業者。「人名簿」「印鑑簿」の発明家として活動を開始し、1927年に株式会社キングジムの前身である「名鑑堂」を創業。数多くの独創的なファイル・バインダーの開発、商品化に尽力した。1958年黄綬褒章、1965年勲六等旭日単光章。

キングファイル スーパードッチ<脱・着>イージー

キングジムは、1954年に日本で初めてパイプ式ファイルを発売しました。以来、多くの企業・官公庁でご使用いただき、今日まで業界トップシェアを維持しています。

2009年にフルサイズバリエーション化された「キングファイル スーパードッチ<脱・着>イージー」は、従来の商品をとじ具と表紙に分別する際に、表紙にプラスチック部品が残るという不便さに着目して開発しました。特長は、とじ具部分のフラップを起こしロックを解除し、指掛け部をスライドし持ち上げると、表紙からとじ具が外れる構造で、表紙部分にとじ具のパーツが残らないことにより、廃棄の際、時間を掛けずに分別作業を行うことができます。また、固定用の樹脂部品は、これまでの二種類の異なる材質を組み合わせていた構造を単一素材にし、リサイクルしやすいように配慮しました。

取り外し前

脱着パーツの上下のフラップを起こします。

指掛け部を上下同時にスライドさせます。

表紙にとじ具のパーツが残りません。

使いやすさの追求

「YY評価」

キングジムでは、商品の使いやすさをチェックするYY評価（よりよいものづくり評価）を行い、商品開発に生かしています。YY評価は、ユニバーサルデザインの原則をもとに、キングジムの視点で項目を見直し、6つの項目を設け、ユーザーに近い評価者に商品を使用してもらい、評価を行っています。合格基準を設け、それに達しない項目に関しては生産開始までに修正を行い、再度評価を行うようにしています。開発者からの視点では気付きにくい問題が、この評価で見えてくることもしばしばあります。こうした「気付き」の改良を常に行うことで、お客様の使いやすさをより追求しています。

評価会風景

人名簿

用途特定型商品の開発

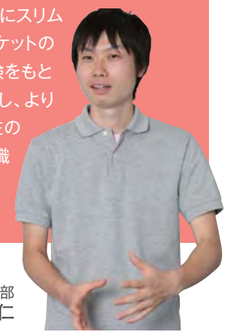
「取扱説明書ファイル」「領収書ファイル」など、「スキットマン」シリーズ（右ページ下）では、
生活シーンを深く掘り下げて、ユーザーの便利さを追求しました。
この他にも、用途を特定することで、これまでにない「便利さ」を追求したファイルを次々に開発しています。

「就活ホルダー」

学生の行う就職活動（“就活”）では、企業別に自己PR資料や履歴書、会社情報など多くの資料が発生します。複数企業の採用活動に参加する学生は、大量の書類を管理できず、活用しきれないというケースがありました。「就活ホルダー」は、これらの散乱しがちな書類を整理し、就活の準備段階から最終面接までトータルに使用できる就活サポートファイルです。各ポケットは、履歴書の全面を保護する「履歴書ポケット」や、ファイルを開かずに書類が閲覧できる「イマスグ資料ポケット」など、各種資料を使用頻度・目的別に使い分けられる仕様になっています。

＼ 開発者の声 ／

開発にあたっては、資料を使用頻度と目的別に使い分けができるように、形状の異なる各種ポケットを用意し、準備段階から最終面接までトータルで活用しやすいようにスリムな設計を心掛けました。特徴的な各ポケットの形状は、私や同期社員の就活の実体験をもとに設計・試作のトライ&エラーを繰り返し、より使いやすい形状を模索した結果、現在の形になりました。この商品が学生の就職活動に少しでもお役に立つことができれば幸いです。



一般文具開発部
清水 貴仁

「オフィスの回覧板ファイル」

「オフィスの回覧板ファイル」は、オフィスでの不満点の解決を目指したファイルの第一弾として開発されました。オフィスでの回覧は多く実施されながら、最適なツールがなく、不満度が高いことが当社調査の結果で明らかになりました。その不満点を細かく分析し、使いやすさを追求した形状に仕上げるため、回覧チェック欄やペンホルダーを設けたり、回覧物が脱落しない密閉形状を採用しました。「オフィスの回覧板ファイル」は、ユーザー視点の商品開発によって生まれた、これまでありそうでなかった新しいファイルです。

個人向け新商品を拡大

法人向け商品が主流だったキングジム製品ですが、
近年、個人向け商品の開発にも力を注いでいます。

Toffy シリーズ発売

「Toffy（トフィー）」は、主に20代以上の女性を意識してデザインした生活雑貨の総合ブランドです。

「Toffyで彩る私の毎日」をテーマに、キュートなカラーの商品群がそろっています。日常生活を楽しく演出するToffyシリーズは、グループ会社である株式会社ラドンナ、株式会社Gクラッセを含めたキングジムグループの共通ブランドとして、ステーショナリーからインテリア雑貨小物まで幅広い商品ラインアップとなっています。

キングジムでは、「クリアーファイル　ヒクタス±」、「テジグ」等のステーショナリーを開発。ラドンナでは、生活に潤いを与えるアロマディフューザー「アロマ・デ・ライト」、Gクラッセでは、健康管理グッズとして人気の「歩数計」等を展開しています。

商品選定、販促物等の検討においては、各グループ会社の女性スタッフによるチームを結成し、精力的に活動しています。今後もグループとしての総合力を生かし、女性のライフスタイルにさらに彩りを添えられるよう、さまざまな商品のご提案をしていきたいと考えています。

KING JIM

キングジムは、オリジナル性あふれる人気商品をToffyカラーでコーディネートしました。“使いやすさ”に“かわいさ”をプラスし、身の周りにあふれる文具も雑貨感覚でおしゃれに使用していただけます。

＋ LADONNA

ラドンナは、左記のアロマディフューザーや、携帯MP3プレーヤーや携帯電話などに対応したミニスピーカーを発売。26mm四方のミニサイズなので、いつでもどこでもお気に入りの音楽を再生できます。キュートで個性的なドットパターンのパネルデザインです。

＋ Gclasser co.,ltd.

Gクラッセは、カタログギフトを中心に販売している時計等を、2009年4月よりToffyブランドで、初めて店頭販売に挑戦しています。今後もカテゴリー領域を拡大して市場投入をしていく予定です。

「スキットマン」シリーズ拡充

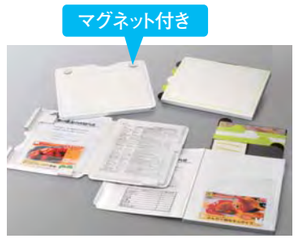
家庭向けファイルシリーズ「スキットマン」をさらにラインアップ拡充、全11アイテムになりました。
今後も新発想の収納アイテムを展開していきます。

■「通帳&カード収納ケース<PP>」

通帳・カード・A4三つ折りサイズの契約書などの書類をひとつにまとめて収納できるケース。コンパクトなサイズながらも、通帳は一冊カバーごと収納可能。たっぷり収納できるので、家庭で散乱しがちな銀行関連の書類がスッキリまとめられます。

■「冷蔵庫ピタッとファイル」

冷蔵庫の扉に貼りがちな紙類を、スッキリ収納できるファイル。細かいメモから学校関係に多いA3サイズの紙類を大きさ別に収納し、閲覧もスムーズにできます。マグネット付きで冷蔵庫に貼って使える上、表紙を閉じればホワイトボード代わりにもなります。



テプラの新しい需要を喚起

1988年の誕生以来、700万台以上を販売した「テプラ」は、「ラベルを作る」という文化を育ててきました。
より便利に使いやすく――「テプラ」は進化し続けています。

「テプラ」PRO SR300

「テプラ」PRO SR300は、シンプルなデザインとコンパクトなボディで使いやすさを追求した、オフィス向けの新型モデルです。

「テプラ」の使用実態調査でよせられた"単純なラベルをもっと簡単に作りたい"というご意見を反映し、なおかつ女性の視点から使いやすさにつながるさまざまな工夫をしました。例えば、お客様から「テプラ」の使い方で、お問合せの多い「たて書き・よこ書き」「書体」「文字サイズ」の設定をダイレクトキーにしたことで、これまで以上に効率良くラベルを作成できます。キーについても入力しやすい大型キーを採用し、文字の打ちやすさを追求しました。また、コンパクトなボディにより、卓上や本棚に立てて収納できるため、場所を取らずにお使いいただけます。このように外観・操作性ともにシンプルにすることによって、新しいお客様に新しい用途で使っていただける可能性が広がっています。

「テプラ」発売から21年目を迎え、これまでご愛用いただいている方にも、まだお使いいただいていない方にも、もっとたくさんのお客様のお役に立てるよう「テプラ」は進化し続けます。

商品企画部
須郷多 純子（左）
電子文具開発部
今田 ひろみ（右）

「テプラ」PRO SR300

中国語版「テプラ」PRO SR3900C

2007年9月より、巨大市場である中国で、ラベルライター「テプラ」の本格展開を開始し、2009年3月に中国語専用モデルでは初のパソコン接続専用機「テプラ」PRO SR3900Cを発売しました。4mm幅～36mm幅のテープカートリッジに対応し、360dpiの高精細な印刷でラベルが印刷できます。

※ 日本国内では販売しておりません。

ファイリング・navi

情報セキュリティと情報活用を両立させるため、RFID[1]技術を活用したファイリングナビゲーションシステムを開発、発売しました。紙文書の運用管理を簡単に行えるファイリングソフトと、ファイルの貸し出し・返却の履歴管理をリアルタイムに自動で行うRFID文書管理システムと、RFIDタグを埋め込んだキングファイルとの組み合わせにより、紙文書の有効活用と情報セキュリティの両立を実現しました。

FILING navi
ファイリングナビゲーションシステム
ファイリング・navi

[1] RFID(Radio Frequency Identification) は、電波を利用した認証（認識）技術の総称。電波による非接触通信とICチップを利用した認証の組み合わせがRFID技術の主流になりつつあるため、「RFID=ICチップを利用した非接触認証技術」を意味するものとして使用されています。

業界他社とのコラボレーション

新たな取組みとして2008年よりスタートした、パートナー企業とのコラボレーション企画商品。
各社の商品の魅力とアイデアを盛り込んだ企画で、今後もさらに商品化を進めていきます。

「チェック®※1 クリアーファイル」

「チェック® クリアーファイル」はゼブラ株式会社の暗記用マーカー「チェックペン」を「ファイル」にセットし、プリントやノートのコピーをポケットに入れるだけでオリジナルの暗記BOOKができる商品です。

※1 チェック®はゼブラ株式会社の登録商標です。

企画にあたり、既存商品の組み合わせだけではなく活用満足度が高い商品とするため、試行錯誤を重ねました。中でもこだわったのが、電車等狭い場所でも360°折り返せばコンパクトな片面サイズとなるリング綴じの「クリアーファイル」、本体に取り外し可能なインデックス付き「チェックシート」、すぐにマーキングできるストラップ付き「チェックペン ミニスター」です。仕様や進行手順等、何度も打合せを重ねることによって、コラボレーションから新たな可能性を生む面白さを経験することができました。

一般文具開発部
植村 尚美

ゼブラ株式会社 商品開発部
近藤 浩輔 様（左）
佐伯 健太郎 様（右）

\ パートナー企業様の声 /

「チェック®クリアーファイル」は、キングジム様とゼブラの、初めてのコラボレーション商品であり、開発には試行錯誤を重ねました。その甲斐があり、両社の長所を生かした素晴らしい商品を作ることができたと感じております。
また、会社の枠を超えたこのような取組みは、新しい価値を創造するために非常に有効であると、将来への可能性を強く感じることができました。

「GelGems®※2（ジェルジェム）」

「GelGems®」はゼリーのような質感と美しい発色を持つ樹脂からなる、窓ガラスや鏡に簡単に貼ったりはがしたりできる新感覚のディスプレイグッズです。

日本で「GelGems®」の独占販売権を持つカメヤマ株式会社とのコラボレーションが実現し、第一弾としてキングジムの「Toffy」シリーズのラインアップのひとつとして生まれたのが「Toffy GelGems®」です。窓ガラスや鏡を手軽にデコレーションできるファンシーアイテムとしての「GelGems®」の特性を生かしながらも、「Toffy」の世界感を作り出す不透明なピンク・白・黒色にレース調のエンボスを付け、大人の女性向けインテリアを演出するデザインにしました。窓や鏡の縁を飾る「フレームバー」&「フレームコーナー」タイプと、女性に人気の蝶・ハート・鍵などをデザインした「モチーフ」タイプの2種をご用意。これらを自由に組み合わせることにより、さまざまなレイアウトを楽しむことができ、手軽に部屋や店舗をデコレーションすることができます。

※2 GelGems®（ジェルジェム）はアメリカの「Design Ideas, Ltd」による登録商標です。

顧客に対する価値の提供

お客様の信頼を得る誠実なコミュニケーションを重視しています。

展示会に燃える「キング魂」とは?

お客様に商品をお奨めする営業活動の中でも、大型の展示会は、ユーザー様に商品を直接見て触って、確かめていただける重要なイベントです。マンツーマンでお客様とお話しできる展示会では、キングジムの営業マンは熱く燃えます。写真は2009年7月、東京ビッグサイトで開催されたアジア最大の文具事務用品の展示会「ISOT」会場での営業スタッフ。この日、この会場でキングジムの「ポメラ」が「日本文具大賞」を受賞しました。

営業視点でのCSコミュニケーション

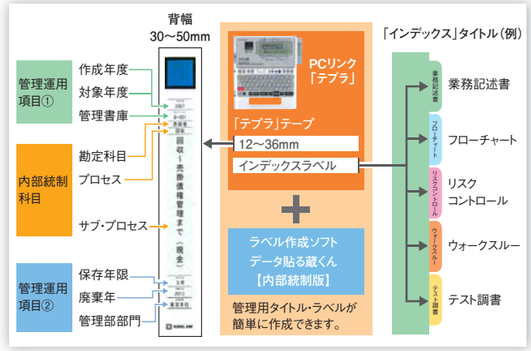
キングジムでは、商品を長期でご愛用いただくことを前提に、顧客との信頼関係を築いています。
営業活動は、商品PRだけでなく、顧客の問題解決のお役に立てるよう、提案型のアプローチに力を入れています。

内部統制に対応するユーザーへの啓発活動

キングジムでは、ファイルの法人ユーザーを対象に、内部統制に欠かせない文書管理を支えるためのファイリング方法をご提案しています。

顧客の内部統制に関わる文書管理についてのお悩みを解消するため、文書管理診断を実施し、お客様の課題に応じた適切なファイリングの提案を通じて、業務改善に寄与しています。

また、文具小売店様と共同でセミナーを開催し、地域顧客に密着したファイリングの提案を行っています。特にPCリンク機能を持った「テプラ」とラベル作成ソフト「データ貼る蔵くん」(内部統制版)との組み合わせは、背見出しタイトルとインデックスラベルの作成が手軽にできると大変好評をいただいています。



「テプラ」とラベル作成ソフト「データ貼る蔵くん」(内部統制版)との組み合わせで内部統制に対応したファイル管理がラクラク!

新製品プロモーションによる顧客接点の拡大

2008年度は、ファイル、テプラとは異なる新規概念・新ジャンルの商品を数多く発売しました。この新製品をお客様に幅広くご紹介できるよう、新規の販売ルート開拓や店頭でのデモンストレーションなども実施しています。

「ポメラ」デモ販売

<ポメラ>
交通機関で配布される雑誌での通信販売や店頭デモの実施
<オフィス環境改善グッズ:ハイブリッドファン、アキュマット>
勉強会や体感キャンペーンの実施
<スキットマンシリーズ>
テレビ通販専門チャンネルでの販売、店頭ディスプレイ陳列

代理店・小売店とのパートナー関係

2008年7月に文具・書籍の小売店様からのご要望にお応えする形で店頭スタッフ約20名様を対象に、ファイル製品とファイリングの基礎知識についての勉強会を開催。当社営業スタッフが講師として参加しました。参加者からは「よく理解できた」、「ファイル売り場担当者としての成長に役立つ」、との前向きな感想をいただきました。また、ファイリングシステムを提案することで顧客との関係強化に役立つ販売促進のための勉強会も年間十数回実施しました。

ファイリングシステムの販促勉強会

ISOT/OSEC

文具業界最大の展示会ISOT(国際文具紙製品展)、OSEC(オフィスセキュリティEXPO)へ毎年出展しています。普段、じかに接することの少ない個人のお客様や、企業ならびに官公庁・地方自治体の購買担当の皆様、流通バイヤーの皆様などに商品に触れていただき、当社社員から説明ができる貴重な機会として、趣向を凝らした展示とご説明を行っています。

OSEC風景

顧客とのコミュニケーション

お客様の声は私たちの大切な財産です。“キングジムブランド”への信頼に応えるため、
お客様とのコミュニケーションを通して、顧客満足の向上に努めています。

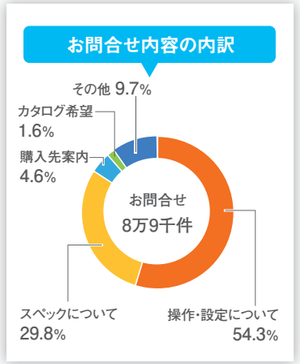
お客様相談室

キングジムではお客様とのコミュニケーションの重要な窓口としてお客様相談室を設置しています。2009年度はフリーダイヤル・メールを中心に8万9千件のお問合せをいただきました。

2009年秋には従来全国4ヵ所に設置されていた相談室を1ヵ所に集約し、お客様からのお問合せやご意見・ご要望に、これまで以上に相談室員一丸となりお応えしていきます。

お客様相談室で得られたお客様の生の声は、キングジムグループの貴重な財産として社内各部門にフィードバックされ、企画・開発・設計・製造・販売・サービスなどすべての事業活動において、顧客満足向上に向けた取組みの源泉となっています。

お客様相談室長
山崎 英一



CS部　東京お客様相談室のメンバー

継続的コミュニケーション

キングジムではお客様のお問合せ窓口として、お客様相談室を設置し、ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）でも商品紹介の他、FAQページやメールによる相談窓口を設けています。

また、メールマガジン「KJ-TIMES[2]」の配信、「ファイル」をご使用いただいているお客様で組織されたFB会員[3]、「テプラ」をご使用いただいているお客様で組織された「テプラ」貼っててよかったclub[4]を運営し、お客様との情報交換を行っています。

さらに、ファイリングやクロックオンのセミナーの開催やギフトショーなど展示会への参加により、お客様とのコミュニケーションに努めています。

商品事故への対応

万一、ご購入いただいた製品に不具合が発生した場合には、迅速かつ透明性のある対応を行い、より安心してご使用いただけるよう努めています。安全性の管理機関、また調査・審議・決定機関として社長を中心としたPL委員会[5]を設置し、より安全な製品をお届けできるよう万全を期しています。

品質保証活動

お客様に満足いただける修理品質を実現するため、修理センターでは修理完了品に定期的にアンケートを同封し、お客様の声をいただいています。また、お客様からお預かりした製品の故障・トラブル情報はデータベース化され、関係部門へフィードバックされます。さらに関係部門とは定期的に情報交換し、商品開発や仕様の改善に生かしています。

[1] フリーダイヤル全国共通　0120-79-8107
受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9：00～午後5：30
●ホームページアドレス　http://www.kingjim.co.jp/

[2] ユーザーの皆様に新製品や便利な商品活用情報などをお伝えするメールマガジン『KJ-TIMES』を配信しています。

[3] ファイル、バインダーを多く採用いただいている企業や法人の方々を対象に情報提供等を行う会員組織です。

[4] 『「テプラ」貼っててよかったclub』では、ユーザーにご紹介いただいたさまざまなラベル表示の活用事例をご案内しています。

[5] 万一、ご購入いただいた製品に不具合が発生した場合、迅速かつ透明性のある対応を行い安心してご使用いただけるようPL委員会を設置し、安全な製品をお届けできるよう万全を期しています。

個人情報保護

当社は、コンプライアンス・プログラムに基づき、
個人情報保護の重要性を認識し、以下の方針により個人情報の保護に努めます。

1.個人情報の取得について
当社は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得いたします。

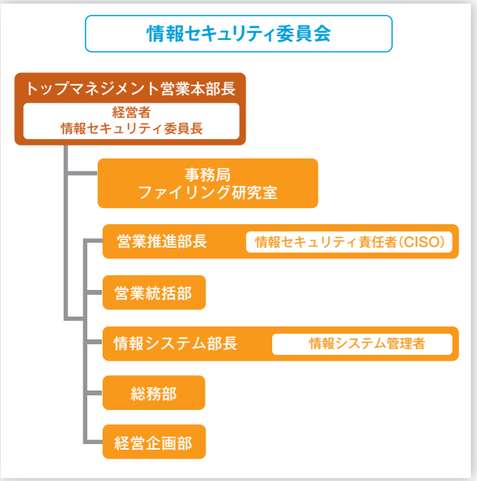
2.個人情報の利用について
当社は、個人情報を取得の際に示した利用目的の範囲で、業務の遂行上必要な限りにおいて利用いたします。
当社は、個人情報を第三者との間で共同利用し、または、個人情報の取扱いを第三者に委託する場合は、当該第三者につき厳正な調査を行ったうえ、秘密を保持させるために、適正な監督を行います。

3.個人情報の第三者への提供について
当社は、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。

4.個人情報の管理について
当社は、個人情報の正確性を保ち、これを安全に管理いたします。
当社は、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などを防止するため、不正アクセス、コンピュータウイルスなどに対する適正な情報セキュリティ対策を講じます。
当社は、個人情報を持ち出し、外部へ送信するなどにより漏洩させません。

5.個人情報の開示・訂正・利用停止・消去について
当社は、本人が自己の個人管理について、開示・訂正・利用停止・消去などを求める権利を有していることを確認し、これらの請求ある場合には、速やかに対応します。

6.組織・体制
当社は、個人情報保護管理者を任命し、個人情報の適正な管理を実施します。
当社は、役員および従業員等に対し、個人情報の保護および適正な管理方法についての教育を実施し、日常業務における個人情報の適正な取扱いを徹底します。



情報セキュリティ委員会の活動

適切な情報マネジメントシステムを構築し、維持・運営するために全社の各部門から委員を選出した情報セキュリティ委員会を設置しています。その役割は（1）情報資産の価値評価（2）情報資産のリスク分析・評価（3）リスク対策の決定となっています。

個人情報や、営業秘密情報を適切に管理できるよう、情報セキュリティをさらに強化するための活動を実施しています。

情報セキュリティ責任者（CISO）
営業推進部長
大門 睦

ISO/IEC27001認証取得

営業推進部（特注課および受注センター除く）は、ISMS認証取得[6]のノウハウを生かした情報コンサルティング業務を行っています。

ISO/IEC 27001:JQA-IM0268

[6] 当社が取得している情報セキュリティマネジメントの認証。
【登録番号】JQA-IM0268
【組　織】（株）キングジム　営業本部　営業推進部
（特注課および受注センターを除く）
【所在地】東京都千代田区東神田2－6－9　アルテビル東神田Ⅱ　3階
【登録範囲】①ファイリングコンサルティングサービスの提供および関連する商品の販売・関連業務（ファイリングソフトウェア開発、教育資料作成）の実施
②顧客（社内含む）に対する商材の企画・提案・販売と生産関連業務（仕入・受発注・在庫管理）の実施
【登録日／改訂日】2005年9月9日／2006年9月8日
【審査登録機関】JQA（財団法人　日本品質保証機構）
【認証取得番号】ISO/IEC27001:2005

環境意識の啓発

キングジムは、事務用品メーカーの使命としてユーザーの環境意識を高めていく責任があると考えます。
そのために、さまざまな媒体を通じて、環境に配慮した商品をお選びいただくための情報発信をしていきます。

キングジム環境マーク

製造ステップ

商品の主要な部材に「再生紙」、「再生PP」や「再生PE」などを利用することによって、省資源化を進めます。商品の企画・設計から環境配慮を重要テーマと位置づけています。

ECOLOGY 再生紙
ECOLOGY 再生PP
ECOLOGY 再生PE
ECOLOGY 再生PS
ECOLOGY 非木材紙
ECOLOGY バイオマス資源

使用ステップ

古くなった商品も使用可能な部分を「再使用(リユース)」できる設計や、部材を交換することでいつまでも「長期使用(ロングライフ)」できる商品を開発しています。使用段階でのユーザーの「環境配慮」にお応えします。

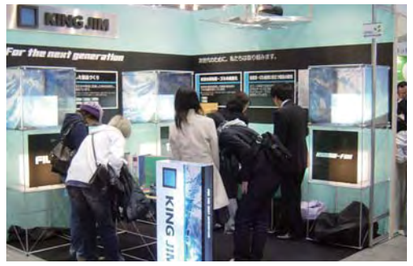
ECOLOGY リユース
ECOLOGY ロングライフ

廃棄ステップ

商品を廃棄する時のことまで考慮に入れ、可燃・資源ゴミに簡単に分別できる「分別廃棄」仕様や使用済み商品の回収システムにより、ゴミの発生を抑制しています。

ECOLOGY 分別廃棄
ECOLOGY 回収・再資源化
ECOLOGY 回収・リユース
ECOLOGY 鉛フリーはんだ

環境展示会



1999年に第一回が開催された「エコプロダクツ展」(主催:産業環境管理協会、日本経済新聞社)。2008年で10回目を迎えましたが、キングジムは環境配慮商品の紹介の場として、第一回目より継続して出展をしています。

最近では見学者の年齢層が幅広くなってきており、社会人の他に小学生や中学生といった学生の姿が増えています。将来を担う子どもたちに対しても理解していただける有意義な展示会として、キングジムの取組みをご覧いただいています。

Webによる情報開示

情報を速やかに開示するためには、Webの存在は欠かせません。キングジムWebサイト内では、環境への取組み全般について掲載しています。

キングジム環境マークについては、環境省Webサイト内「環境ラベル等データベース」で紹介されています。

また、東京商工会議所Webサイトには、「エコユニット[2]」の活動紹介コーナーがあります。キングジムは「エコユニット」に登録しており、環境保全活動等を公開しています。

環境省 環境ラベル等データベース
http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html

エコユニット
http://www.eco-people.jp/

キングジムホームページ
http://www.kingjim.co.jp/

[1] キングジム商品の素材や使用時・廃棄時の情報について、お客様自身が判断できるようにカタログに掲載した独自のマーク。
[2] eco 検定合格者が中心となってグループを結成し環境活動を行い、活動の取組みを対外的にPRします。

情報活用の啓発

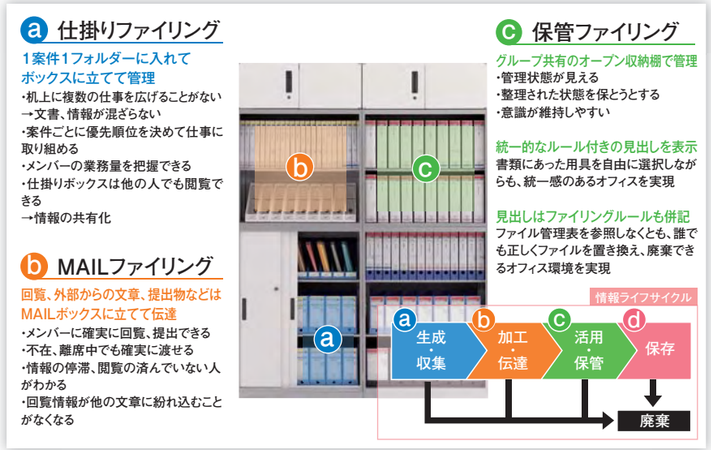
情報の整理と活用に関するノウハウを、
さまざまなメディアにのせて常に発信しています。

オープン・ファイリングシステム

情報を共有するためには、オープンであることが必要です。当社では共有する情報を分かりやすくするためのオープン・ファイリングシステムを提案しています。

情報ライフサイクルに合わせた4つのファイリングシステムから構成されています。最適なファイル用具の組合せにより、論理的に整合がとれているだけでなく、利用者が具体的に体感できるファイリングシステムです。

情報発信は、ホームページ、WEBマガジン、ビジネス雑誌公開セミナー、流通とのタイアップセミナー、展示会など、さまざまなメディアを通して行っています。



無料ファイリングセミナーの実施

ファイリングセミナー

キングジムでは、お客様にファイリングの実際を体験していただき、その重要性を改めて知っていただくことを目的に各種セミナーを開催しています。その中でも、お気軽に参加できる無料セミナーを、通常の有料セミナーの他に年11回開催しています(2008年7月~2009年7月実績)。参加いただいたお客様からは「実際に参加してみて、すぐに実践できることが分かった」、「文書管理をしないことへの危機感が生まれた」など、ご好評をいただいています。

http://www.kingjim.co.jp/filing/seminar/

メディアを通じて情報活用をPR

日本工業出版株式会社の「月刊自動認識」2009年7月号では、RFIDを応用した文書管理システム「ファイリング・navi」の特長や導入事例について解説しています。また、月刊「QCサークル」2008年12月号では、「見える化・見せる化のすすめ」として書類の見える化を実現するファイリングシステムを解説しています。

「QCサークル」
2008年12月号(P.48-51)

環境経営の推進

企業活動のあらゆる面で環境への配慮を実践しています。

<前列左より>
上田 高司(営業戦略部企画課長)、橋本 博之(常務取締役)、
高橋 由希子(環境推進室)、山口 哲男(広報部長)
<後列左より>
菊池 純一(電子文具開発部開発一課長)、鳴田 博(一般文具開発部設計課長)、
河村 広(経営企画部経営企画課長)、加田 洋之(製造企画部企画課長)、佐藤 朋直(環境推進室長)

関連部門が連携します。

毎月開催される環境委員会製品部会は、商品に関連する環境配慮について、部門間の連絡協議を行っています。多様な部門からの意見を検討し、環境への対応を図っています。

環境憲章の制定

私たちのかけがえのない地球の環境を守るために。
文具事務用品メーカーとして商品を供給する立場から、キングジムは「環境憲章」を制定し、
社会の一員として責任ある取組みを行っています。

環境憲章

次世代のために、私たちは取り組みます。
For the next generation

環境理念

キングジムグループは商品を供給する立場から、資源の有効活用を積極的に行い、地球にやさしい商品の開発・生産につとめます。
キングジムグループは社会の責任ある一員として、自然との共生をめざし、地球環境の保全につとめます。

環境憲章
キングジム環境憲章は、1998年1月に制定されました。

行動指針

キングジムグループは自然との調和を経営の重要課題としてとらえ、企業活動の全域で環境へのやさしさを優先して行動します。

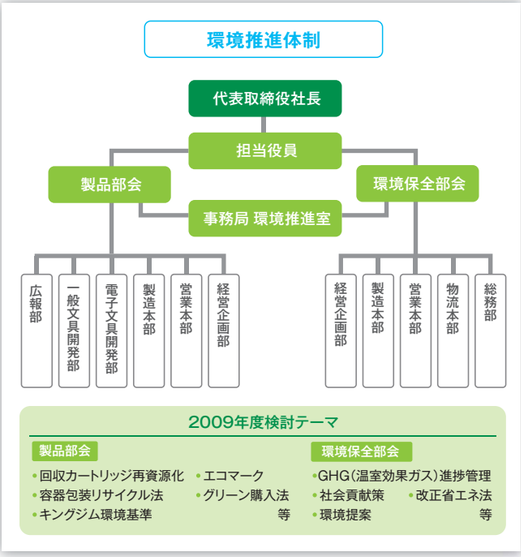
- 開発・設計の段階から環境・安全性を考慮し、環境保全に適合した省資源・環境配慮製品の提供につとめる。
- 生産・販売・物流・廃棄などの各段階で、環境保全に貢献できる資材やシステムを積極的に取り入れる。
- 環境に関する法規制を遵守するとともに、自主管理規制を設定し環境管理の向上につとめる。
- 社内の環境教育を行い意識の向上をはかるとともに、環境保全活動を通して社会に貢献する。
- 環境管理の組織、運営制度を整備し、環境改善施策を実行し自主管理の維持向上につとめる。
- 環境に関する方針を必要に応じて開示し、環境保全につとめる。

環境推進体制

キングジムでは環境担当役員のもと、環境課題に積極的に取り組み、かつ迅速に対応するために、環境委員会(事務局 環境推進室)を開催しています。

環境問題はテーマが広範なため、①製品部会 ②環境保全部会の2部会制にして、テーマ別に議論、検討を重ねています。

主要テーマとしては、
❶環境法令への対応 ❷環境表示について
❸地球温暖化対策 ❹廃棄物問題
等があります。
また、
・カーボンオフセット[1]
・カーボンフットプリント[2]
といった国の取組みについても、いち早く議論に取り上げて議論しました。



[1] 日常生活や経済活動において排出されるCO_2等の温室効果ガスのうち、省エネ等の削減努力を行った上でも削減しきれない分のすべて、または一部を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)するという考え方。

[2] 原材料調達から製造・販売・廃棄に至るまで、商品のライフサイクル全体における温室効果ガスをCO_2排出量に換算し表示するもの。「炭素の足跡」という意味。

温暖化防止

地球温暖化の主な原因は、GHG（温室効果ガス）の排出量増加によるものです。
GHGの約9割はエネルギー起源のCO_2（二酸化炭素）であり、
キングジムとしても省エネルギー対策の強化に取り組んでいます。

具体的施策

❶室内温度管理の徹底
冷房時と暖房時における、室温管理。

❷照明管理の徹底
不要な照明の消灯や早朝時や残業時は、必要な箇所のみ点灯する。

❸OA機器管理の徹底
会議や昼食時における、離席時のパソコンのディスプレイはスイッチOFF。

❹アイドリングストップの徹底
営業車等の当社自動車は、駐停車時にアイドリングストップを実施する。

❺エレベーター使用における効率化
階段を利用して昇降出来る階数については、出来るだけ階段を利用する。

環境推進室長
佐藤 朋直

\ 従業員の声 /

2009年度の総括

2009年度におけるGHG（温室効果ガス）排出量実績は、1,794.8 t−CO_2でした。
温暖化防止に対して、「2010年度までに、1995年度比で84.0%を達成する」という目標を掲げてきましたが、すでに、2年前の2007年度時点において達成することができました。今後、GHGを大幅に削減するのは、なかなか難しいことですが、引き続き日常における省エネルギー活動（左記の具体的施策など）を全社員が徹底して実行できるよう、これからも啓発活動を行っていきます。

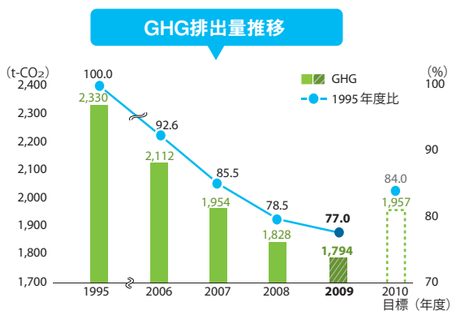
WARM BIZの社内掲示

COOL BIZ／WARM BIZによる省エネ活動

「チーム・マイナス6%」の参加企業として、冬期には「WARM BIZ」を実施しました。

各部署に温度計を設置して室温を実測、室温管理の遵守に取り組みました。

今夏からは、「COOL BIZ」を完全実施して、さらなるCO_2排出量削減に取り組んでいます。



ライトダウンキャンペーンへの参加

温暖化防止のため、環境省がライトアップ施設や家庭の電気を消すよう呼びかけている「CO_2削減／ライトダウンキャンペーン」に、昨年に引き続き、参加しました。

夏至の日（6／21）および七夕の日（7／7）の夜8時～10時の2時間、ライトアップ照明を消灯し、温暖化防止に協力しました。

省エネ診断実施

キングジム本社屋についての省エネルギー診断を、東京都地球温暖化防止活動推進センター様に実施していただきました。

省エネにかかわる社内ルールの確認や、省エネ設備の使用状況、保守状況等を直接巡回し、診断していただきました。

診断後のアドバイス等は、今後の省エネ活動につなげていきます。

省エネ診断

モーダルシフトの推進

トラックが主流になりがちな物流の手段ですが、キングジムでは、以前よりもCO_2排出量を抑制するため、鉄道へのモーダルシフト[2]を推進してきました。

2008年度からは、さらにCO_2排出量の少ない海上輸送も利用して、環境負荷の低減に取り組んでいます。

[1] 政府が進める地球温暖化防止のための国民運動。京都議定書による、温室効果ガス6%削減約束を達成することを目標としています。クール・ビズやウォーム・ビズもその一環。

[2] 輸送手段をトラックから環境負荷の低い大量輸送機関である鉄道または海運へ転換し、トラックとの複合一貫輸送を推進すること。

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

廃棄物対策

部門・部署により、廃棄物の種類や廃棄量は異なります。
キングジムでは各部門・各部署が独自の方法で、
廃棄物量の削減およびリサイクル化に取り組んでいます。

製造部門のリサイクル

ファイル製造工程のある松戸工場では、紙、プラスチック、金属あるいは複合材といった産業廃棄物が発生します。その他、使用済み蛍光灯など事業活動全体から発生する廃棄物も含めると、ゴミの種類は膨大になります。

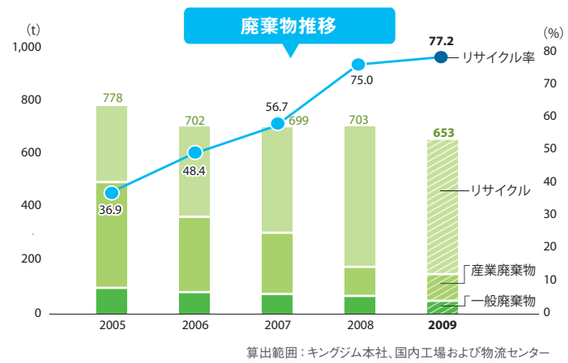
リサイクルするためには、分別排出は欠かせません。松戸工場では現在、23種類に細分類してリサイクルに貢献しています。

また、分別することにより、廃棄費用のコストダウンも実現しています。

㈱キングビジネスサポート 社長
寺沢 勇

今後の課題について

ゴミを廃棄する際は、分別排出をするよう心掛けています。例えばオフィスの場合は、個人専用のゴミ箱が机の脇に存在します。そのため、紙ゴミやプラスチックゴミ等、いろいろなゴミをつい一緒に捨ててしまいがちです。わずかなことですが、環境問題は個人の意識や行動が大切だと認識しています。気付いたら、即実践！に結び付けていきたいです。



算出範囲：キングジム本社、国内工場および物流センター

物流部門のリサイクル

販売を終了した物流在庫品は、残念ながら廃棄処分せざるを得ません。但し、そのまま廃棄するのではなく、まず部品に解体し、材料ごとに分別することでリサイクルにつなげています。

この作業は、千葉県松戸市の障がい者施設「ふくし館ばれっと」様のご協力を得ながら進めています。（詳細は、P.35「障がい者施設との協働」をご覧ください）

回収カートリッジのリユース・リサイクル

お客様にて使用済みとなった、「テプラ」用テープカートリッジの回収を行っています。

回収された中から部品をリユースし、また、上下ケースは粉砕後にリサイクルされ、再びテープカートリッジの原料に生まれ変わります。（詳細は、P.27「『テプラ』使用済みテープカートリッジ回収フロー」をご覧ください）

オフィス部門のリサイクル

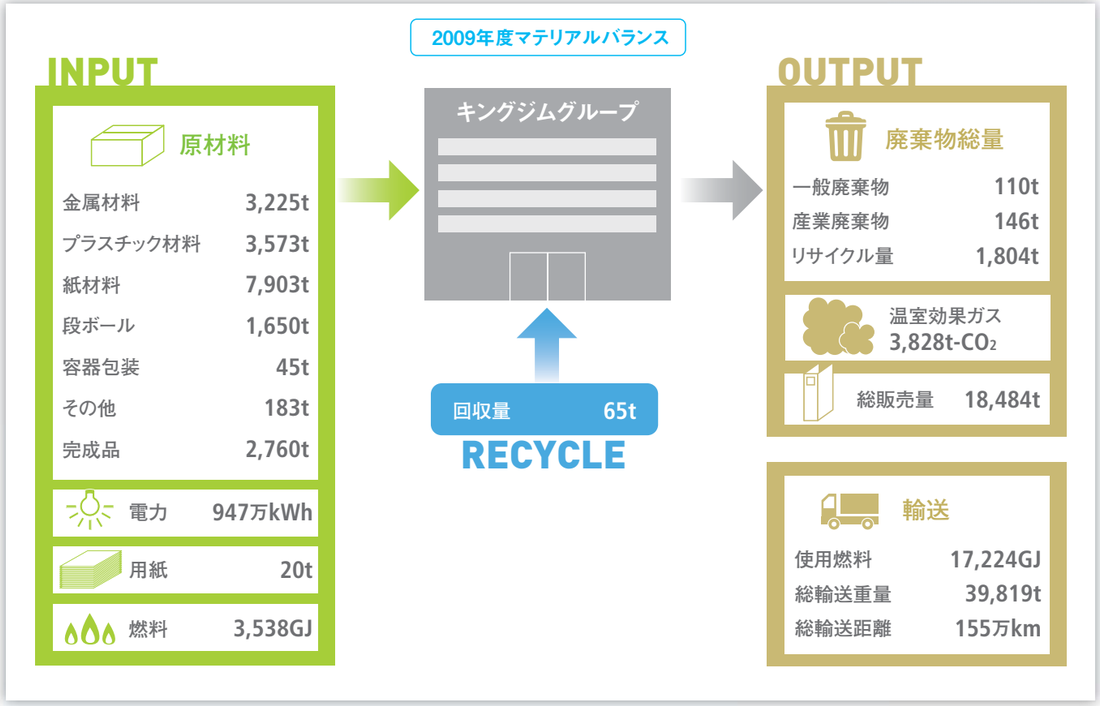
本社地区においては、千代田区が運営する「ちよだエコ・オフィス町内会[3]」の古紙リサイクルシステムにて紙の分別回収に取り組んでいます。

古紙を分別排出することで、紙ゴミの減量と省資源化を図っています。

[3] 千代田区内のオフィス古紙のリサイクルに会員企業と千代田区が共同で取り組む回収システム。オフィスから出る古紙を分別回収し、資源としてリサイクルすることによって紙ゴミの減量および省資源化を図ります。

マテリアルフロー

キングジムでは、事業活動についてのマテリアルバランスを整理し、把握しています。
事業活動の全体を捉えることが、環境配慮商品の開発や地球温暖化防止の推進に重要となります。
環境負荷の低減につなげるために、今後も継続して当社のマテリアルフローの把握や分析を行っていきます。

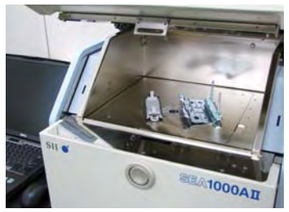


化学物質管理

PRTR法[1]指定化学物質のうち、キングジムで把握する必要のある物質は、トルエンとキシレンの2化学物質です。これは、厚型ファイルの製造工程にて使用する接着剤に、成分として含有しているものです。

PRTR法の施行以来、各工場とも年間取扱量が1tに満たないため、現在に至るまで届出の対象にはなっていません。

また、最近では、RoHS指令[2] 指定化学物質をはじめとする、製品に含有する化学物質情報開示が求められています。キングジムでは、蛍光X線分析器による社内検証体制を整えており、必要に応じて部品の分析を行い、データを蓄積しています。


蛍光X線分析器

トルエン　単位:kg

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
つくば工場	693.0	704.0	680.9	655.6	552.2
松戸工場	90.0	77.0	65.3	67.4	57.8
Total	783.0	781.0	746.2	723.0	610.0

キシレン　単位:kg

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
つくば工場	698.1	706.1	686.2	661.5	557.1
松戸工場	51.3	54.6	54.1	56.2	46.6
Total	749.4	760.7	740.3	717.7	603.7

算出期間:PRTR法に基づき、毎年4月～翌年3月で算出

[1] Pollutant Release and Transfer Registerの略。特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律。
[2] Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipmentの略。
電機電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令。

環境マネジメント

企業が環境負荷を低減するためには、まず環境問題に対する個人の意識や知識の向上が必要です。
キングジムでは、社内LANを利用した環境情報の提供や社員への教育を通じて、
環境問題への関心を高めています。

物流部
小原 崇

＼ 従業員の声 ／
昨年私は、第5回のeco検定試験を受験しました。受験しようと思った理由は、環境問題について、自分がどの程度の知識を持っているか、を試してみたかったからです。今までは「環境問題」と言うと幅広いイメージでしたが、環境負荷低減のために何をすべきか?自分に何ができるのか?を改めて考える良い機会になりました。個人でできることは限られてしまいますが、身近な問題として、会社でも家庭においても取り組んでいこうと思います。

環境勉強会

2008年5月と6月に、「お客様に対して、どういう環境配慮商品が提供可能か?」をテーマに、営業部門の社員を対象とする「環境勉強会」を開催しました。

<カーボンオフセット>や<カーボンフットプリント>等、身近な議題を中心に、採用の可能性や課題、訴求効果の大きさについて議論しました。

今後も「環境勉強会」を定期的に開催して、環境問題に対する情報共有を図ります。

環境教育

新入社員に対する環境教育

毎年4月に、新人研修プログラムの一環として、新入社員に対する環境教育を実施しています。これは、企業の環境負荷低減のためには個々の社員の意識や知識の向上が不可欠だからです。企業と環境とのかかわりについての理解を深め、今後の業務に応用してもらうことを目的としています。

また、東京商工会議所主催の「環境社会検定試験(eco検定)[3]」を自主的に受験する等、社員の環境に対する意識も、年々高まっています。

社内提案制度

キングジムには、日常の仕事の改善、生産性の上がる改善などを自由に提案できる「社内提案制度」があります。

今までのテーマは「業務・事務改善提案」のみでしたが、「環境に関する改善提案」もテーマに加え、環境問題に対する啓発活動を行いました。

秋に行われた提案キャンペーンでは、応募総数440件のうち約1割を占める43件が、環境に関する提案でした。

提案内容
- 廃棄物削減と社会貢献
- 廃棄物のリサイクル化
- エコドライブの徹底
- ゴミ分別策
- 電力削減策
- 副資材等の有効活用　等

環境マネジメントシステム

つくば工場ではISO14001に基づき、環境負荷低減のための目的・目標を設定、業務の継続的改善に努めました。

2009 年度　環境保全活動
- 電力の削減　•CO_2の削減
- 産業廃棄物の削減
- 一般廃棄物 / もっぱら物[4]の削減
- 地域との共生　• 環境教育の実施
- 環境に配慮した製品への働きかけ
- 安全で働き甲斐のある職場環境の確保

環境会計[5]

環境保全への取組みを効率的かつ効果的に行うためには、環境保全コストを把握し、分析していくことが重要です。例年通り、どの分類項目も概ね同水準で推移しました。今後は、コスト削減できる取組みや効果ある環境投資等の判断ができるように、環境会計を充実させていきます。

環境保全コスト(2009年度)

分類	主な取組みの内容	費用額(千円)
①事業エリア内コスト／資源循環コスト	●廃棄物処理　●リサイクル 等	14,540
②上・下流コスト	●カートリッジ回収 ●容器包装リサイクル法 再商品化委託料金	20,611
③管理活動コスト	●ISO14001維持　●従業員教育 ●カタログ制作、展示会出展 等	33,554
④研究開発コスト	●開発試作　●設備 等	68,069
⑤社会活動コスト	●環境保全団体への寄付 等	490
合　計		137,264

[3] 環境に対する幅広い知識を持ち、社会の中で率先して環境問題に取り組む人づくりと、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」を目指す、東京商工会議所主催の検定試験。
[4] 廃棄物の処理及び清掃に関する法律における「専ら再生利用の目的となる廃棄物」を略して「専ら物(もっぱらぶつ)」と呼んでいます。古紙、くず鉄(古銅等を含む)、あきびん類、古繊維の4種類があります。
[5] 事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的(貨幣単位または物量単位)に測定し、伝達する仕組み。

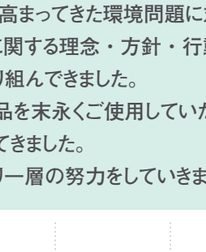
環境を意識した商品の取組み

Eco Products

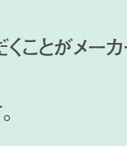
1990年代以降、急速に高まってきた環境問題に対して、
キングジムでは環境対策に関する理念・方針・行動指針を明確にし、
課題に対して積極的に取り組んできました。
その中でも、環境配慮商品を末永くご使用していただくことがメーカーの使命と考え、
さまざまな商品をご提供してきました。
今後も全社を挙げて、より一層の努力をしていきます。

1991
- ・エコロジープロジェクト発足
- ・「保存ファイル」が パイプ式ファイルとして初めて エコマーク認定商品となる。

保存ファイル



1992



1993
- ・分別廃棄可能な 「キングファイル スーパードッチ」発売
- ・グリーン購入ネットワーク(GPN)の会員になる

キングファイル スーパードッチ

1994
- ・キングジム「環境憲章」制定
- ・再使用を考慮した 「キングファイル スーパードッチ<脱・着>」発売
- ・「クリアーファイル リサイクル」発売
- ・環境推進室 設置

1995

クリアーファイル リサイクル

キングファイル スーパードッチ<脱・着>

1996

「テプラ」PROテープ カートリッジ

- ・「テプラ」PROテープ カートリッジが エコマーク認定商品となる

1997

1998
- ・つくば工場にて 「ISO14001」認証取得

1999

2000

図面ファイル GB

- ・非木材紙を採用した 「図面ファイルＧＢ」発売

2001

生分解 ファイル

- ・生分解プラスチックを使用した 「生分解ファイル」発売

2002

再生PPを使用した 「クリアーホルダー リサイクル」発売

2003

「テプラ」PRO SR710

鉛フリーはんだ

- ・「テプラ」ＰＲＯシリーズに 鉛フリーはんだを順次導入
- ・再生ＰＰを使用した「再生透明ポケット」発売
- ・廃ガス管から生まれた 「キングファイルリサイクルＰＥ」発売

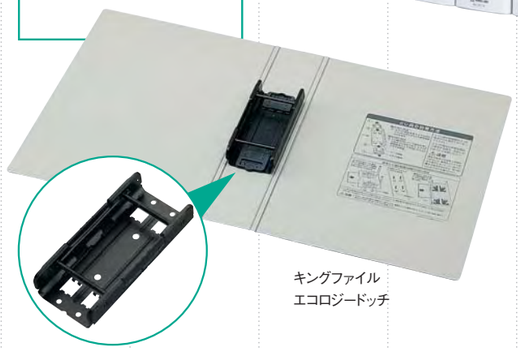
キングファイル リサイクルPE

廃ガス管をリサイクルし、ファイルの素材に。

2004

違法伐採問題に 関する行動指針制定

2005
- ・クロムフリーの 「キングファイル エコロジードッチ」発売
- ・ＧＨＧ排出削減目標設定



キングファイル エコロジードッチ

2006

社内提案制度において、「環境」をテーマとした提案募集を開始

2007
- ・オフィス環境改善グッズ
- ・「ハイブリッド・ファン」発売
- ・物流手段に海上輸送を利用して、
- ・モーダルシフトを推進

2008

分別廃棄をしやすくした 「キングファイル スーパードッチ ＜脱・着＞イージー」 フルラインアップ

キングファイル スーパードッチ ＜脱・着＞イージー

2009

環境配慮設計

製品の製造・使用・廃棄というライフステージにおいて、環境負荷を如何に低減できるか。
それは、環境配慮の視点が製品設計にどのくらい反映されているか、に関係しています。

製造ステップ

商品の企画・設計段階において、素材の選定は環境負荷を左右する大きな要素です。
再生材や環境配慮素材の使用は、資源の有効活用に大きく貢献します。

ECOLOGY 再生紙

キングファイル スーパードッチ

古紙を有効利用するため、厚型ファイルの表紙芯材には再生紙を使用しています。

ECOLOGY 再生PP

クリアーファイル カラーベース ヒクタス±(スリム)

表紙やポケットに再生PP(再生ポリプロピレン)を使用し、資源の有効活用をしています。

ECOLOGY 再生紙

保存ファイル

表紙材は古紙から作られています。単一素材ですが、安定した品質を持ち合わせています。

ECOLOGY 非木材紙

図面ファイルGB

森林保護や未利用資源の有効活用といった観点から、「バガス[1]」を使用しています。

使用ステップ

リユース、それは繰り返して使うこと。
古くなった商品でも部品を交換すれば長期使用が可能になります。使い捨てではなく、何度も使用できる工夫があります。

ECOLOGY リユース

キングファイル スーパードッチ<脱・着>イージー

表紙のリユース

古くなった表紙に「保存綴じ具」を取り付けて、「保存用ファイル」として使用できます。

＋

保存綴じ具

綴じ具のリユース

取り外した綴じ具を「替え表紙」に取り付ければ、再び「キングファイル スーパードッチ<脱・着>イージー」に生まれ変わります。

＋

替え表紙

廃棄ステップ

廃棄時においては分別が可能なことや有害物質の含まれていない材料であることが重要です。また、「テプラ」使用済みテープカートリッジは、キングジム独自の回収システムがあり、廃棄物の削減を実現しています。

ECOLOGY 分別廃棄

キングファイル スーパードッチ

表紙から綴じ具を取り外すことができる構造になっています。
そのため廃棄時には、可燃ゴミと金属ゴミの分別が可能です。

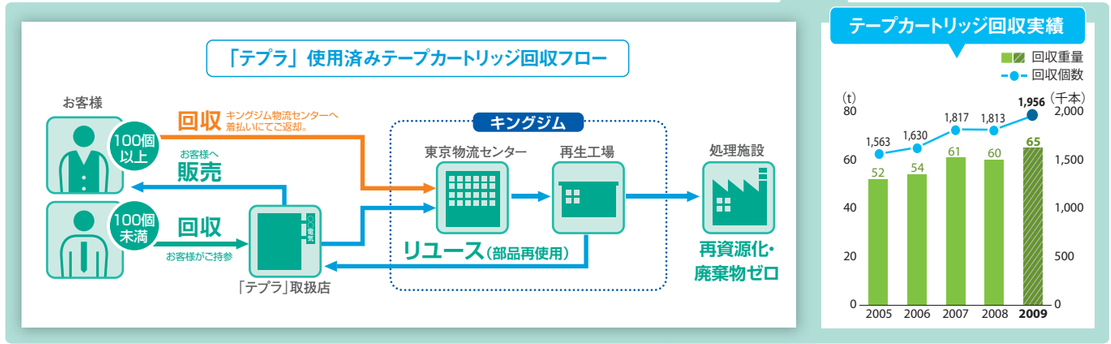
ECOLOGY 鉛フリーはんだ

「テプラ」の実装部分に使用するはんだについて、鉛を含まない材料に切替えています。

ECOLOGY 回収・再資源化

ECOLOGY 回収・リユース

使用済みのテープカートリッジを回収しています。
リユースやリサイクルを通じて、廃棄物の削減を行っています。



リデュース・リユース・リサイクルの3R＋オルタナティブテクノロジー

「REDUCE(発生の抑制)·REUSE(再使用)·RECYCLE(再資源活用·再資源化)」の3R。環境配慮設計をする上で、この3つの視点は欠かせません。

キングジムでは、材料の選定や製造方法の検討、使いやすさや使い終わってから、を考慮しながら製品仕様を決定しています。

また、従来の素材に替わり、環境負荷が少なく有害物質を含まない材料の研究や開発等、代替技術(オルタナティブテクノロジー)の応用および普及も目指しています。

これらの考えに基づき、環境負荷を可能な限り軽減した製品の開発に取り組んでいます。

「資源採取」「製造」「流通」「使用」「廃棄·リサイクル」に至るまで、これからもライフサイクルを通じて最適な環境配慮設計を追求します。

これらの取組みについて、さらに分かりやすくするために、キングジムでは独自に環境マークを制定しています。このマークは、カタログ等において製品の、どの部分が環境配慮されているか、を詳しく紹介した環境マークです。

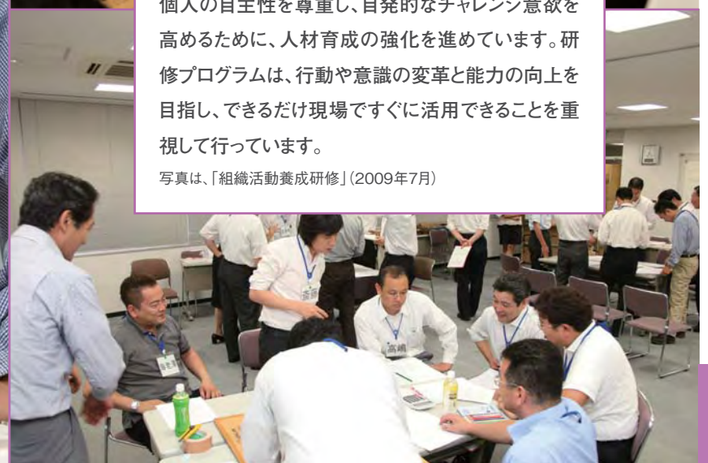
[1] 精糖工程から排出されるサトウキビの搾りカス。バイオマス資源として、紙の原料や、ボイラー燃料などに使用されています。

自ら考え、行動できる人材の育成を目指しています。

自立型の人材育成のための研修

個人の自主性を尊重し、自発的なチャレンジ意欲を高めるために、人材育成の強化を進めています。研修プログラムは、行動や意識の変革と能力の向上を目指し、できるだけ現場ですぐに活用できることを重視して行っています。

写真は、「組織活動養成研修」(2009年7月)



人材の登用と活用

チャレンジ意欲のある人材を登用し、公正な働く機会を提供しています。

チャレンジ意欲の向上

従業員のチャレンジ意欲の向上と能力の一層の発揮を促し、企業風土の活性化を図ることを目的として、「社内ベンチャー制度」と「キャリアチャレンジ制度」を実施しています。社内ベンチャー制度は、当社の理念や事業領域から大きく逸脱しない範囲内で新規事業開発にチャレンジし、新たな起業の事業企画を広く全社より募集しています。本人の自主性により自由に応募することができますが、審査では独自性、新規性、収益採算性があることが求められます。また、キャリアチャレンジ制度は、募集する部門が社内LANで求人情報を公開し、チャレンジ意欲や能力のある従業員を広く社内から募集する制度です。対象者は、社員だけでなく契約社員・パートタイマーまでとし、幅広く応募できる仕組みとなっています。今後も、従業員のチャレンジ意欲の向上と活性化のため、継続してこの制度を推進していきます。

キャリアチャレンジ制度の求人情報は社内LANで公開されます。

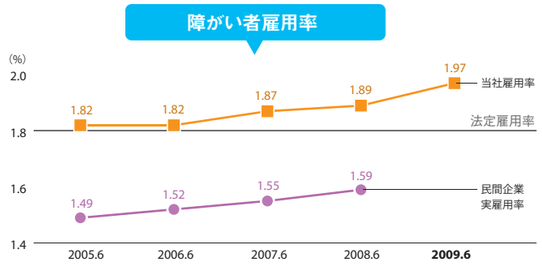
従業員の状況/従業員数

※2009年6月20日現在

年度		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
キングジム	男性	424名	421名	417名	409名	393名
	女性	139名	136名	125名	119名	109名
グループ全体		1,092名	1,091名	1,082名	1,177名	1,454名

障がい者雇用

キングジムグループは、障がいの有無にかかわらず従業員がやりがいを持って能力を発揮できる会社を目指しています。キングジムの2009年度の障がい者雇用率は、法定雇用率である1.80%や全民間企業の平均雇用率を上回る1.97%を達成しています。当社では障がいを持つ従業員も健常者と同じ職場で、さまざまな業務に従事しています。今後も障がい者の雇用に対する取組みを継続して推進していきます。



障がい者雇用率

※民間企業実雇用率：厚生労働省

年度	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
法定雇用率	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%	1.80%
当社雇用率	1.82%	1.82%	1.87%	1.89%	1.97%
民間企業実雇用率	1.49%	1.52%	1.55%	1.59%	

Column 社内ブログ

キングジムでは、社内コミュニケーションの活性化を目的とした「キングジム社内ブログ」を実施しています。社長ブログをはじめ、各部門のグループブログや、当社情報の最新ニュースクリッピングなど、社内間で多岐にわたる話題が提供できます。

また、社員個人でブログを作成することも可能で、日常業務の内容に留まらず、プライベートの情報も発信することで、部門を越えたコミュニケーションに貢献しています。

社内ブログ

働きやすい職場環境の実現

従業員が能力を最大限に発揮しながら、安心して働ける職場づくりに努めています。

自己申告制度

キングジムでは、自己申告制度を実施しています。対象者は、キングジムおよび国内のキングジムグループ会社内の全員とし、社員だけでなく嘱託社員、パートタイマー・派遣社員からも、幅広く意見を聴いています。希望する職務や会社・職場での課題や諸制度の改正など、すべての従業員が自由な意見を会社に伝えることができる制度です。

裁判員制度への対応

裁判員制度の実施に伴い、社会的責任の一環として、従業員が安心してその責務を果たすことができるように、裁判員制度休暇細則を定め、特別休暇を新設しました。この特別休暇は、裁判員候補者・裁判員・補充裁判員に選出され公務を行う場合に、必要な日数が付与されます。

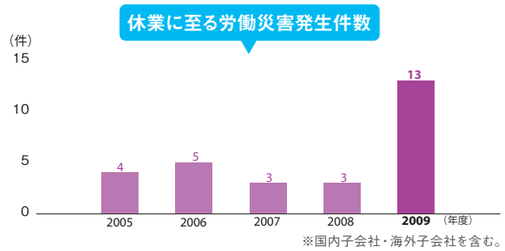
能力開発制度

キングジムでは、自立型の人材育成を目標とする能力開発制度における、研修プログラムを計画し、実施しています。

2008年度は、経営人材育成および、経営マネジメントを身につけるための「経営戦略研修」、上司と部下がともに人材育成できる職場風土の醸成を図り変革推進していくスキルを身につける「コーチング研修」、組織変革していくための土壌づくりとして、個々人の能力とコミュニケーションに重点を置き、自己革新を推進する「組織活力育成研修」等を実施しました。今後も研修プログラムに従い、自立型人材の育成を進めていきます。

安全衛生

職場の安全・衛生面に配慮した労働環境を提供するために、安全衛生委員会が中心となって労働災害の防止や従業員の健康維持のために取り組んでいます。2008年度は、残念ながら海外生産子会社において休業に至る労働災害の発生件数が増加となりました。今後は、労働災害ゼロを目標として、防止活動の推進を強化していきます。



※国内子会社・海外子会社を含む。

健康づくり制度

従業員の健康づくり、病気の予防と早期発見のため、健康保険組合と連携し健康管理を進めています。メタボリックシンドローム予防のための特定健診、特定保健指導が実施されており、従業員の健康管理について個人への保健指導や栄養診断等を行っています。また、インフルエンザ予防のために予防接種の実施を推奨しています。予防接種を受けた場合には、健康保険組合から費用の補助制度があります。

セクハラ相談窓口

セクハラ防止への対応は、「セクシュアルハラスメントの防止に関する細則」に明確に定められている他、従業員就業規則やコンプライアンスプログラムにも定められています。セクシュアルハラスメント相談窓口では、女性と男性の相談員を配置し、個人のプライバシーに十分配慮しながら、必要な措置を講じます。また、セクシュアルハラスメント相談窓口とは別に、コンプライアンスプログラムに基づく担当弁護士によるスピークアウト制度も併設しています。

いきいきと働ける職場づくり

従業員一人ひとりの多様性を尊重し、仕事と家庭の両立ができる環境を整えていきます。

従業員の多様性の尊重

キングジムでは、多様な価値観を尊重し、従業員が性別、国籍、人種、宗教、障がいなどによる差別を受けることなく、いきいきと能力の発揮ができるよう、環境の整備に取り組んでいます。新入社員の採用においては、男女の割合をできるだけ同じにするように努め、男女差がない採用活動を行っています。また、人事制度にはグループ転換制度があり、男女にかかわらず意欲のある従業員は、審査を経てグループ転換することにより、やりがいのある仕事を担当し活躍することができます。今後も多様な価値観を尊重するため、人事面の施策や職場風土の改革などを推進します。

人事部
土門 雅子

\ 従業員の声 /

グループ転換をして

私は事務職で入社し、育児休業を経て職場復帰しました。復帰直後は、育児と仕事の両立ができるか不安でしたが、周囲の協力のもと、さまざまな仕事を経験していくうちに、仕事に対する意識が変わり、さらに幅広く多様な仕事を経験したいと思い、グループ転換をしました。これまでの経験や育児を通じての視点を生かしながら、人事部の一員として働きやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思い仕事に励んでいます。

ワークライフバランスへの取組み

キングジムでは、従業員がいきいきと仕事に取り組み、充実した家庭生活を送るための環境づくりに努めており、社員の多様な就業ニーズに応える支援制度を整えています。育児休業期間については、育児休業取得者の意見を参考にし、保育園の入園時期を配慮した時期まで延長するなど、安心して働ける環境づくりを目指しています。また、業務の都合に合わせて、勤務時間を自ら変更できる「時差勤務制度」を新たに導入し、フレキシブルな労働時間管理ができるように環境整備を行っています。

福岡支店
長谷 深喜

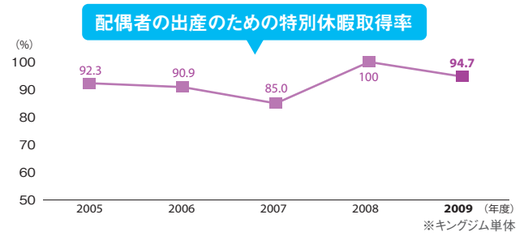
\ 従業員の声 /

育児休業後の復職

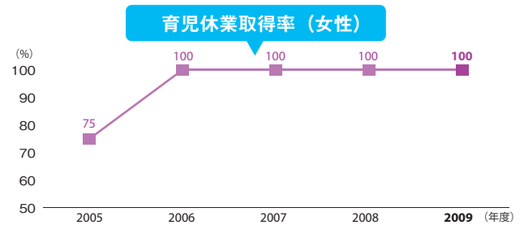
育児休業中は、毎日がバタバタであっという間の1年でした。今までの生活とはガラッと変わり、息子中心の生活になったため、私の自由な時間はなくなってしまいました。しかしその分、たくさんの笑顔とたくさんの出会いをもらい、息子にすごく感謝しています。
復帰直後から、部署がお客様相談室から業務課に変更になったこともあり、不安を抱えてのスタートとなりました。しかし、周りの方に協力していただいているおかげで、奮闘しながらも仕事と育児を両立しています。息子も保育園でがんばっているので、私もがんばらなければいけないと思います。

育児・介護支援制度

制度	内　容
産前産後休暇	産前6週間、産後8週間（多胎妊娠の場合は、産前14週間、産後8週間）
特別休暇	配偶者の出産のための特別休暇（4日付与）
子の看護休暇	就学前の子の負傷・疾病による看護のための休暇（年間5日まで）
育児休業	出産後、子が満1歳に達する日までの育児のための休業 （ただし、最長1年6ヶ月まで、または、1歳に到達した後の4月15日まで延長が可能）
介護休業	要介護家族1名につき通算93日までの休業
育児短時間勤務	1日の労働時間を1.5時間まで短縮可能
介護短時間勤務	1日の労働時間を2時間まで短縮可能



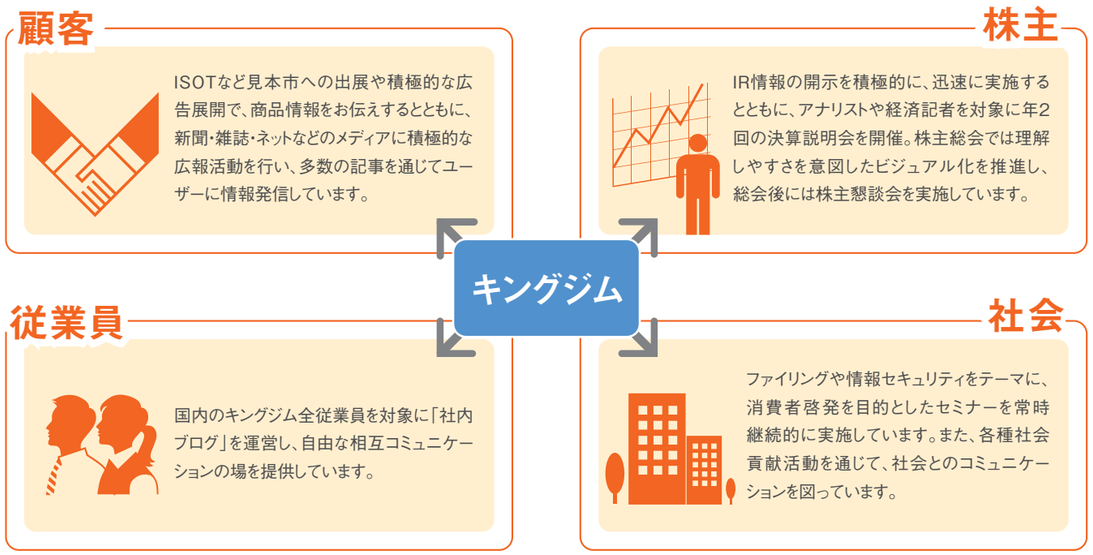
※キングジム単体



※国内子会社を含む。

ステークホルダーとのコミュニケーション

「顧客」「株主」「従業員」「社会」など、ステークホルダーとの良好なコミュニケーションを図るため、積極的に活動しています。



広報活動

対外広報活動として、1年間（2008年5月1日～2009年4月30日）にIR関連17本、製品関連53本、合計70本のニュースリリース（記者向けの情報ペーパー）をメディアに発表。ホームページでも公開しています。また、経営トップだけでなく、商品開発の担当者などへの取材も数多くお受けし、記事や番組の中で取りあげていただいています。

事実を重視し、虚飾情報を排して積極的に情報開示する姿勢によって、記者に信頼される広報活動を積み重ねています。

記者発表会

キングジム関連報道　掲出件数（2008年4月21日～2009年4月20日実績）

メディアの種類	テレビ	新聞	雑誌	ネット（ニュースサイト）	合計
掲出件数	27件	834件	233件	766件	1,860件

ニュースリリース

広告宣伝活動

広告宣伝活動では、お客様に対して商品の特性についてより分かりやすく、共感を得られる表現を目指しています。宣伝活動に使用する媒体は、広く社会に受け入れられ、認知されているメディアを、コスト効率なども勘案しつつ、選定しています。

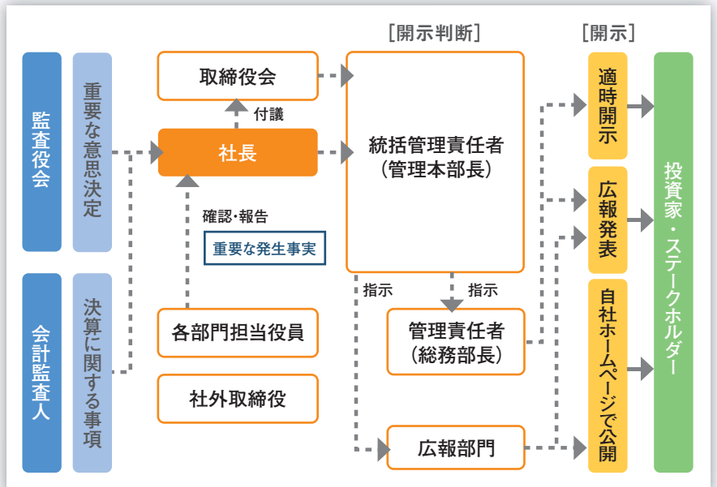
デジタルメモ「ポメラ」　テレビ CM

IR活動

IR関連情報の開示については、東京証券取引所の「上場関連規則」および「会社情報適時開示ガイドブック」に従い、加えて経営判断により、積極的な開示に努めています。また、年に2回の「決算説明会」により、証券アナリストや経済記者への、決算および会社方針の説明を行っています。

ホームページのIR情報
http://www.kingjim.co.jp/ir/

株主通信



株主総会

定時株主総会

懇談会の様子

年1回の定時株主総会では、「開かれた株主総会」を目指して、理解しやすさを意図したビジュアル化を推進しています。2008年9月の「第60回定時株主総会」では、株主約200名様がご出席。活発な質疑応答がなされました。

総会後の「懇談会」では、役員との懇談の場を設け、より一層のコミュニケーションに努めています。

決算説明会

決算説明会

年2回、中間決算と本決算について、アナリスト・経済記者などを対象に「決算説明会」を実施しています。

2008年8月に「期末」、2009年3月に「中間期」の説明会を実施。代表取締役社長による決算内容や経営課題のご説明を行い、証券アナリストや経済記者など、ご出席の皆様に、当社経営に対するご理解を深めていただいています。

それぞれの出席者は、2008年8月が33名、2009年3月が36名でした。

社会とともに

社会貢献活動の推進

キングジムグループでは、未来を担う人材の能力・才能を発揮する機会を提供するため、自社商品を使った教育支援や、障がい者支援など、さまざまな分野で社会貢献活動に取り組んでいます。

点字体験授業

武蔵野市立井之頭小学校の授業風景

東京都立杉並総合高等学校の授業風景

東京都立一橋高等学校の授業風景

東京都立一橋高等学校では、点字絵本を作成して奈良県生駒市の視覚障害を持つ母親たちのサークル「かるがもの会」に寄付しています。

キングジムでは、小学生と高校生を対象に、自社製品である点字「テプラ」を活用した、点字体験授業を毎年実施しています。

近年、小学校の「総合的な学習の時間」や、高校の「奉仕体験授業」では、街で実際に点字表記を探したり、視覚障がい者を授業に招いて講義を行うなどの授業が数多く展開され、点字学習への注目度が年々高まりつつあります。

2008年度は、東京都武蔵野市立井之頭小学校の5年生、東京都立一橋高等学校の3年生、東京都立西高等学校の1年生、東京都立杉並総合高等学校の1年生を対象とした、点字体験授業を実施しました。

井之頭小学校の授業では、キングジムの社員から点字の由来や点字表記の仕組みを説明した後、実際に点字「テプラ」を使用して点字と印刷文字入りのラベルを作成しました。

点字体験授業は、子どもたちが点字を学ぶ上で、点字初心者でも簡単に点字翻訳できる点字「テプラ」を活用し、点字をより身近に感じてもらうことをねらいとしています。

キングジムでは、今後とも、このような自社製品を活用した教育支援活動を継続していきたいと考えています。

＜点字体験授業実施校＞

2008年	東京都武蔵野市立井之頭小学校　5年生
	東京都立一橋高等学校　3年生
	東京都立西高等学校　1年生
	東京都立杉並総合高等学校　1年生
2009年	東京都武蔵野市立井之頭小学校　5年生
	東京都立一橋高等学校　3年生

点字「テプラ」PRO SR6700D とは

点字の知識がない方でも、簡単に点字ラベルを作成することができる「テプラ」です。

屋上へ

国際社会とともに

海外の生産拠点はインドネシア・マレーシア・ベトナムの3カ国となり、アジア諸国との結びつきがますます強くなってきました。海外での事業展開においては、国際的規範や現地の法令を守ることは当然ですが、現地社会と協調するような活動にも各生産拠点ごとに積極的に取り組んでいます。本格稼働を始めたKING JIM(VIETNAM)Co.,Ltd.では、学生の方々に大学の教育プログラムの一環で、数ヶ月の実務研修を体験していただいています。

インターンシップ

キングジムでは、大学生の夏休み期間を利用して、インターンシップを継続的に受け入れています。2009年度も、2週間にわたり、大学生の方にそれぞれ営業推進部・人事部・広報部・電子文具開発部に分かれて就業体験をしていただきました。

2009年度インターンシップ参加の皆さん

インターンシップ参加 学生の声

2週間の中で、貴重な体験をさせていただきました。期間中は、ホームページに掲載されている採用情報のバージョンアップを企画・検討するなど、普段では絶対に経験できないことが良い刺激になり、自分の成長につながったと思います。

会社訪問

学校の職業教育やフィールドワークの一環で、会社訪問の受け入れを2006年より行っています。プログラムには、社内のフロア見学や、生徒とキングジム社員が直接対話できる質疑応答の時間を設けています。2009年は東京都立一橋高等学校、国分寺市立第四中学校の生徒の皆さんが会社訪問をしました。

教育支援・環境保護

教育支援活動として、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に、協賛企業として2004年より継続的に支援を続けています。この弁論大会は、「国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与すること」を目的としており、当社としてもその趣旨に賛同し、支援を続けています。また、環境保護活動の一環としては、1992年より日本野鳥の会、1993年よりWWFジャパンの法人会員となり、協賛を続けています。

日本野鳥の会
「野鳥のせかいへのパスポート」

障がい者施設との協働

千葉県松戸市にある、障がい者就労施設「ふくし館ぱれっと」では、20代から40代までの男女10数名（2009年7月現在）が、自立した生活を営めることを目指して、さまざまな作業に従事しています。

キングジムでは、複合材の処理にあたり、素材ごとに分別解体をするリサイクル業務を委託して、環境負荷低減にご協力をいただいています。

マネジメント

経営理念

**独創的な商品を開発し、
新たな文化の創造をもって社会に貢献する**

行動指針

見つめよう市場　見なおそう慣行　見つけよう新発想

顧客に対して

商品およびサービスは、十分な顧客満足を果たさなければならない。
新商品開発は、市場開拓型の独創的な企画を追求しなければならない。
その品質は顧客の求める水準に維持され、かつ適正な価格でなければならない。

社員に対して

社員の個性を尊重した能力開発とともに、自由闊達な提案や意見具申ができるなど、
能力を生かせる職場環境を保たなければならない。
待遇は能力と実績に応じ、公正かつ適正なものでなければならない。

株主に対して

常に顧客の信頼と理解を得られるよう、情報を積極的に開示しなければならない。
企業価値の増大と株主への利益還元に努めなければならない。
コーポレートガバナンスを強化し、
公正かつ透明性の高い経営を行わなければならない。

社会に対して

商品は、文化の向上に貢献できるものでなければならない。
社内のコンプライアンス体制を整備し、
社会の一員としての意識とモラルを持たなければならない。
商品と企業活動を通して、常に環境と資源の保護に努めなければならない。

コンプライアンス体制の確立

キングジムは、経営理念、行動指針、ならびに最上位規程として位置づけられたコンプライアンスプログラムにより、役員および従業員が自らを律し、法令遵守はもとより、企業理念の実践に努めています。

コンプライアンスプログラム

私たちキングジムグループのすべての企業行動は、コンプライアンスに根付いたものでなければならない。

- 私たちキングジムグループの一員は、企業倫理や法律に反した行動をとりません。万一、企業倫理や法律に反する行為、または疑わしい行動を知った場合は、コンプライアンスの体制に則って、適切な対応をとります。
- 私たちキングジムグループの一員は、合法的でかつ清廉な行動をとります。
- 私たちキングジムグループの一員は、コンプライアンスの精神に反する不当な利益追求を行いません。

<コンプライアンスの指針>

●環境の保全
私たちキングジムグループの一員は、環境配慮活動に積極的に取り組み、地球規模での環境負荷の軽減に努めます。

●贈収賄などの禁止
私たちキングジムグループの一員は、社外とのクリーンな関係を保ちつづけ、贈収賄など、キングジムブランドを汚す行為は行いません。

●良好な国際取引関係の形成
私たちキングジムグループの一員は、海外との取引にあたっては、関係法令を遵守すると共に、その文化や慣習を尊重し、良好な国際取引関係を形成します。

●反社会的勢力との対決
私たちキングジムグループの一員は、暴力団などの反社会的勢力・団体とは、一切の関わりを持ちません。また、不当な要求には一切応じません。

●独占禁止法の遵守
私たちキングジムグループの一員は、独占禁止法やその関係法令（景表法、下請法等）を遵守し、公正で、自由かつ透明な競争を行います。

●知的財産の尊重
私たちキングジムグループの一員は、キングジムグループの知的財産権を尊重すると共に、他人の権利を尊重します。

●不正競争の防止
私たちキングジムグループの一員は、不正競争防止法を遵守します。また、その精神に則り、オリジナリティーを尊重した商品開発を心がけると共に、常に業界のトップブランドであり続けます。

●基本的人権の尊重
私たちキングジムグループの一員は、基本的人権を擁護し、人を人として尊重すると共に、個人の尊厳を傷つけるような行為は行いません。

●労働関係法令の遵守
私たちキングジムグループの一員は、労働関係法令を遵守し、快適で安全な労働環境の維持・向上に努めます。

●ハラスメントの禁止
私たちキングジムグループの一員は、いかなるハラスメントも行いません。

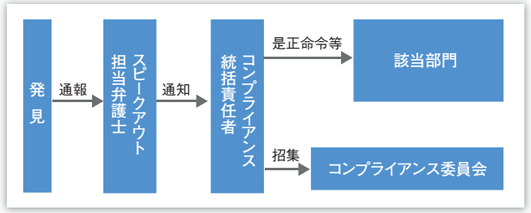
●インサイダー取引の禁止
私たちキングジムグループの一員は、インサイダー取引を行いません。

●秘密情報の適切管理
私たちキングジムグループの一員は、営業秘密、ノウハウ、個人情報などの秘密情報を適切に管理します。私たちキングジムグループの一員は、これらを不正に使用したり、第三者に漏洩することは致しません。

内部通報制度

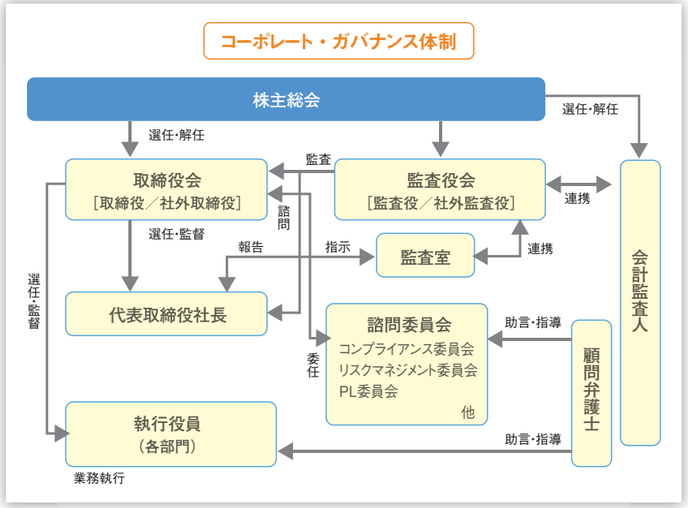
●健全な企業活動の確保に向けた当社のスピークアウト制度の整備について

上記のコンプライアンスプログラムの実効性を確保するために、当社ではスピークアウト制度を整備しています。万一、コンプライアンス上問題となるおそれのある企業活動が生じた場合に、右図のプロセスを経て、これを未然に防止する体制を確保しています。



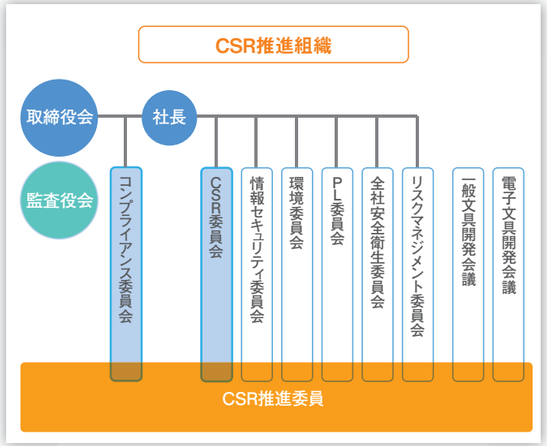
コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

キングジムは、右図の体制にもとに、コーポレート・ガバナンスの充実に努めています。取締役会は、原則月1回開催し、経営方針、事業計画、組織その他取締役会規程に基づく案件等に関し、十分に審議を重ねています。監査役は常勤監査役1名、非常勤監査役3名から構成され、原則月1回監査役会を開催しています。監査役は取締役会に出席し、意見の陳述を行う他、取締役会の運営、決議、審議の方法などの監視をしています。また、当社は、執行役員制度を採用しており、各執行役員が担当部門の業務執行責任者として、当該部門の業務を迅速、的確に執行しています。



CSRマネジメント体制

キングジムのCSRマネジメント体制は、2006年8月に発足した「CSR委員会」を核として推進しています。委員会発足以前も、法令遵守などはもちろん、行動指針で各ステークホルダー（顧客、社員、社会、株主）に対して果たすべき役割を明確にしたり、環境負荷低減に早くから取り組むなど、CSR的活動を続けてきましたが、CSR委員会の発足によりCSRの観点から、さまざまな企業活動をチェックするようになりました。CSR委員会は、CSRの各テーマに関係の深い部署や専門委員会からメンバーを選出した部門横断的な組織としており、年数回の会合を行い、CSRレポートの編纂も行っています。発足当初は、課題の抽出やチェックが活動の中心でしたが、現在は新しい具体的な取組みテーマの抽出や強化を重視して活動しています。委員会発足以降、点字「テブラ」を使った点字体験授業を実施してきましたが、このようなキングジムならではの活動を今後も続けていきたいと考えています。



内部統制

●財務報告の信頼性確保のための内部統制の構築と運用について

当社は、企業が業務を適正かつ効率的に行うために極めて重要な体制およびプロセスであると考え、社長を委員長とした特別プロジェクトチームを社内に設置し、内部統制報告書を2009年9月に提出します。

第三者コメント

キングジムCSRレポート・会社案内2009を読んで

山口真奈美

企業の信頼について、トップインタビューの中で「市場からの指示だけでなく、社会において責任ある行動をとっているか、という基本があってこそ成立する」という観点が打ち出されています。

自然の資源を有効に活用し、人の手によって新たに創造されていく製品・サービスへのプロセスと関わる人々の想いが、昨年より合体したCSRレポートと会社案内との融合によって、よりシンプルに伝わる内容となりました。

さらに紙面の見やすく読みやすい工夫、伝えたいことは簡潔に、必要な部分は説明を十分にしている点からも、この一冊でキングジムという企業が少なからず読者にも感じ取れたのではないでしょうか。

CSRについて、「経営理念を忠実に実行し、なおかつステークホルダーの皆様に対して、組織としての透明性を保つことにある」とありますが、4回目の報告書となる今回も従来通りの誠実な報告がなされています。

さらに、育児休業からの復帰後、不安ながらもやりがいを感じながら活躍されている方の声や、「ボメラ」にもみられるように、商品開発での開発マンの優れた発想を尊重し、創業以来の自由闊達な社風が受け継がれた、開発者をはじめとする従業員や関係者の意見や感想・課題も多く取り入れられました。企業活動そのものを見せるだけでなく、忠実に実行している方々の声によって、より透明性が増したことでしょう。

具体的に特色をCSRの違った側面からみてみると、例えば手間のかからない分別作業やリサイクルしやすい配慮は、当然のようなさりげないものであっても、利用者にとってはとても重要且つ環境に配慮した行動に繋がりやすいというメリットがあります。ユニバーサルデザインの原則を基にした「YY評価」による「気づき」の改良もあり、ここにもキングジムのイノベーション＝製品価値の創造という息遣いを感じるとともに、社会に果たすべき企業の責任が利用者に活かされています。

それから、環境推進体制での主要テーマなどからも、関連部門の連携によって検討されている具体的な内容により方向性や関心が伺えます。2007年時点で達成されているGHG（温室効果ガス）排出量実績についても、さらに具体的施策によって達成率を上回っている点、また、省エネ診断を実施するなど外部のアドバイスや評価を取り入れるなどから、今後の長期的目標を掲げそれを実施するための施策の提示に期待が出来ます。

これらに加えて、社会貢献活動については、点字体験や教育支援などは評価できますが、一方で本業に直接関連しなくとも、拠点を広げた海外の自然環境への取り組みや貢献活動などを取り入れていくことも必要かもしれません。

日本の企業活動は国内のみならず海外においても多大な影響を与えます。それは今もなお破壊されつつある自然環境や絶滅に瀕する動植物の保全、そしてその地域で生活している人々の健康や社会面への配慮など多岐にわたります。

製造拠点を海外に集約・移管しキングジムのグローバル化が加速する中で、まず製造に係わる環境負荷を多角的に検証しなくてはなりません。さらに考慮すべき点として、海外生産子会社における労働災害の件数が増加していることからも、労働安全や働く人々の条件・権利などに、十分な配慮と日本企業としての雇用の在り方を示していく必要があると言えます。

皆様の身近に感じたであろうキングジムグループが日本の「事務の王様」として世界に羽ばたき、どのようなリーダーシップを取っていくのか期待しています。

山口真奈美氏 プロフィール

環境・CSRに関する研究・評価・教育及び関連事業の他、
環境やオーガニック等の認証審査を手掛ける。
株式会社FEM代表取締役。株式会社Control Union Japan代表取締役。
他NPO理事等を兼任。経済学修士（環境経済学）・学術修士（環境科学）

会社概要 (2009年6月20日現在)

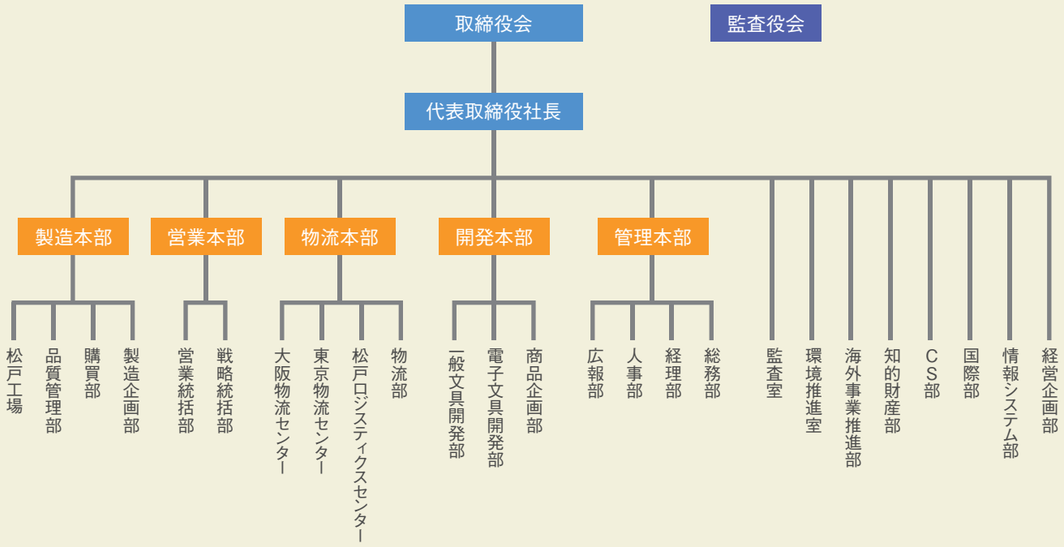
商号	株式会社キングジム　KING JIM CO.,LTD.
代表取締役社長	宮本 彰
創業	昭和2年(1927年)4月
設立	昭和23年(1948年)8月
資本金	19億7,869万円
株式	東京証券取引所市場第一部　証券コード7962
従業員数	502人(連結:1,454人)
所在地	東京都千代田区東神田二丁目10番18号
事業所数	支店・営業所・出張所…12　工場(国内)…2 物流拠点…3
連結子会社	株式会社キングビジネスサポート 株式会社Gクラッセ 株式会社ラドンナ 株式会社アスカ商会 P.T.KING JIM INDONESIA(インドネシア) KING JIM(MALAYSIA)SDN.BHD.(マレーシア) 錦宮(上海)貿易有限公司(中国) KING JIM(VIETNAM)Co.,Ltd.(ベトナム)

役員体制 (2009年9月現在)

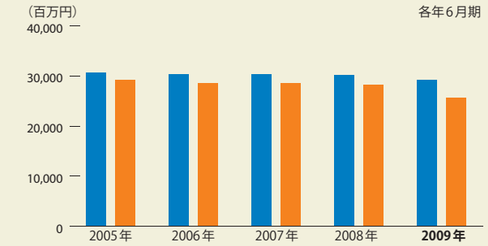
代表取締役社長	宮本 彰
◆ 専務取締役(管理本部長)	吉岡 隆昭
◆ 常務取締役(物流本部長 兼情報システム部担当)	宮本 英晴
◆ 常務取締役(製造本部長 兼海外事業推進部担当 兼環境推進室担当)	橋本 博之
◆ 常務取締役(開発本部長)	横田 英人
◆ 常務取締役(経営企画部担当 兼国際部担当 兼国内子会社担当 兼監査室担当)	表 匡聡
◆ 取締役(株式会社アスカ商会代表取締役)	岩澤 勝康
◆ 取締役(営業本部長 兼CS部担当)	西尾 保
社外取締役	印南 一路
常勤監査役	市村 憲治
社外監査役	田中 誠
社外監査役	遠山 勉
社外監査役	谷内 篤博
執行役員(株式会社アスカ商会専務取締役)	伊藤 和敏
執行役員(経営企画部長 兼知的財産部担当)	泉澤 光春
執行役員(営業本部副本部長 兼戦略統括部長 兼営業戦略部長)	萩田 直道
執行役員(総務部長)	宮川 眞治
執行役員(営業本部副本部長　兼営業統括部長)	白樫 義春

◆印は執行役員を兼務しています。

組織構成 (2009年9月以降の体制)

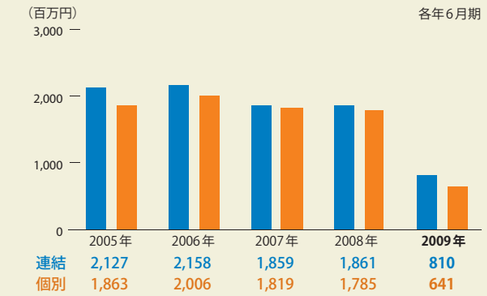


売上高



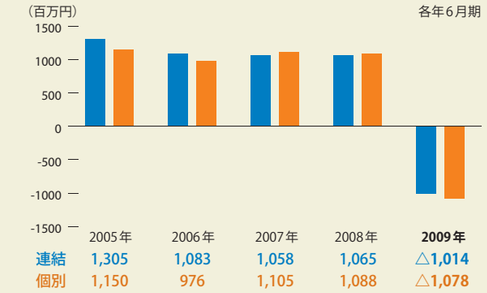
	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
連結	30,683	30,299	30,395	30,166	29,291
個別	29,149	28,602	28,608	28,284	25,628

経常利益



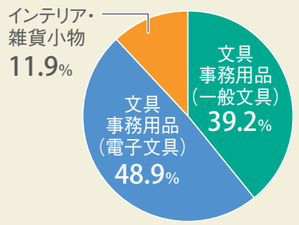
	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
連結	2,127	2,158	1,859	1,861	810
個別	1,863	2,006	1,819	1,785	641

当期純利益



	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
連結	1,305	1,083	1,058	1,065	△1,014
個別	1,150	976	1,105	1,088	△1,078

売上構成比



沿革

1927年	●創業者・宮本英太郎が「特許人名簿」、「印鑑簿」を発売。
1947年	●ルーズリーフ、バインダー、各種ファイル類を生産発売。
1948年	●「株式会社名鑑堂」を設立。
1953年	●大阪支店を開設。
1961年	●社名を「株式会社キングジム」に改称。名古屋支店を開設。
1964年	●「キングファイルG」を発売。
1967年	●宮本健三が社長に就任。
1981年	●福岡支店を開設。
1982年	●宮本浩三が社長に就任。
1987年	●東京店頭市場に株式を登録。
1988年	●ラベルライター「テプラ」を発売。
1992年	●宮本彰が社長に就任。
1993年	●「キングファイルG」累計販売冊数1億冊、「テプラ」累計販売台数100万台を突破。
1996年	●P.T.KING JIM INDONESIAを設立。
1998年	●KING JIM(MALAYSIA)SDN.BHD.を設立。 ●電子文具事業開発本部でISO9001の認証を取得。 ●環境憲章制定。
2001年	●東京証券取引所市場第二部に上場。 ●長島商事株式会社(現:ラドンナ)をグループ会社化。
2002年	●中国に上海錦宮牧野国際貿易有限公司(現:錦宮(上海)貿易有限公司)を設立。 ●株式会社合同(現:Gクラッセ)をグループ会社化。
2005年	●点字もできる「テプラ」発売。 ●営業推進部で「BS7799」「ISMS」(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証を取得。 ●東京証券取引所市場第一部に指定。
2006年	●CSR報告書を発行。 ●営業推進部で「BS7799」「ISMS」から「ISO/IEC 27001」へ移行。
2007年	●KING JIM(VIETNAM)Co.,Ltd.を設立。
2008年	●株式会社アスカ商会をグループ会社化。 ●デジタルメモ「ポメラ」を発売。
2009年	●株式会社アスカ商会が東京ショールームを開設。

国内グループ会社

キングジムには、個性豊かな4つの国内グループ会社があります。各社は、日々の生活を彩る室内インテリア・雑貨小物などの企画・販売を中心とした事業を行っており、各々の分野で確固たる地位を築いています。

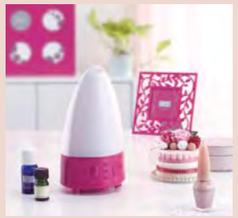
株式会社キングビジネスサポート

キングジムグループ各社が本来の業務に専念し、企業価値を高めるためのビジネスサポート全般を行っています。総務・庶務・購買など周辺業務の見直しや企業リスクに関する保険の提案、従業員への福利厚生サービスの提供などを通して、効率的業務をサポートしています。

株式会社ラドンナ　LADONNA

フォトフレームを中心として毎日の生活シーンに潤いをもたらす室内装飾小物の企画・販売を行っています。フォトフレームは、ギフト需要を中心に百貨店店頭でシェアNo.1を誇るだけでなく、インテリア雑貨店の店頭をもあざやかに彩っています。品揃えは、ベーシックなものから遊び心に満ちたデザインのもの、さらに新しい機構を加えたものなど幅広いラインアップをご用意しています。かねてより人気のあるベビーフレームやブライダルフレームの他、「AVANTI」のようなモダンインテリアをコンセプトにしたセンスあふれるフレームにも人気が集まっています。また、最近はフォトフレームだけでなく、素敵な香りのある暮らしを演出するアロマシリーズやデジカメや携帯で撮影した写真を飾るデジタルフォトフレームも大変好評を得ています。さらに、新ブランド「Toffy」シリーズは、4色の可愛いカラーバリエーションで、フォトフレーム・デジタルフォトフレーム・アロマデライトといった商品ジャンルに渡って展開を開始し、発売直後から大変な反響を呼んでいます。

取締役
総合企画部長 兼 営業部長
浦野 潤也

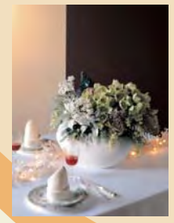


Toffy アロマ・デ・ライト

ブライダルフレーム

株式会社アス力商会　asca

アーティフィシャル・フラワー（造花）やクリスマス・デコレーション、インテリア雑貨などの企画・販売を行っています。「asca」ブランドは、業界内で高品質とファッショナブルな展開で高い評価を得ています。アーティフィシャル・フラワーでは、自然をモチーフにascaの素材や色へのこだわりから生まれたデザインラインで、「Exquisite」や「Glossy Decor」など個性あふれるシリーズを展開。より快適な空間を彩っています。クリスマス商品は、トレンドをいち早く取り入れ、豊かなイマジネーションを誘う数々の商品でワンランク上のクリスマスシーンを演出できます。ショールームを名古屋本社近くに構え、皆様より大変ご好評を博してきましたが、今般名古屋に加え2009年秋には東京にもショールームを新規オープンします。



企画部
岸 黄子

株式会社Gクラッセ

ギフト向けのこだわりある腕時計、置・掛時計や、シンプルでありながらも個性の光るファイル・収納用品を中心とした各種ステーショナリー・雑貨を企画・開発・販売しています。時計は、シンプルなデザインからファッショナブルで個性豊かなものまでオリジナルブランドの腕時計を多数展開し、充実したラインアップを揃えています。ステーショナリーは、スタイリッシュなオフィスやリビングではもはや定番となった「モノクローム」や「キャビネ・ド・トラバイユ」に加え、新ブランドを次々と発売。2009年は、鏡面PPのファイルシリーズ「ヘクスト」、3種類のピンクで展開の「So Pink!」、ペンケース等もラインアップした服飾用合皮を採用した「ナイヴィタート」を発売し、大変好評を得ています。お客様のご要望に応じて企画から商品化までプロデュースするOEMも多くの実績があります。

営業
山崎 泰

モノクローム

キャビネ・ド・トラバイユ

□事業拠点

□海外拠点

錦宮(上海)貿易有限公司　販売会社

中国 上海市

経済発展の著しい中国市場に、ファイルを中心とした文具、事務用品を販売する目的で、2002年に中国・上海に設立しました。

香港駐在員事務所

Room1408, Bevery House,93-107Lockhart Road,Wanchai,Hong Kong
(香港Wanchai)

KING JIM(VIETNAM)Co.,Ltd.　生産会社

ベトナム ビンズン省

キングファイルを中心とした、事務用ファイルを生産する工場です。2007年に設立しました。

P.T.KING JIM INDONESIA　生産会社

インドネシア 東ジャワ州パスルアン県

クリアーファイルを中心とした、化成品ファイルを生産する工場です。1996年に設立しました。

KING JIM(MALAYSIA)SDN.BHD.　生産会社

マレーシア ケダ州スンガイペタニ市

キングファイルの心臓部ともいえる金属とじ具の生産工場です。1998年に設立しました。

□国内拠点

営業所・出張所

本社
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号
TEL.03-3862-2231(ダイヤルイン案内)

札幌営業所
〒062-0933 札幌市豊平区平岸三条三丁目1番27号
TEL.011-811-0593　FAX.011-822-7695

仙台営業所
〒984-0002 仙台市若林区卸町東二丁目1番23号
TEL.022-236-4110　FAX.022-236-2020

さいたま営業所
〒331-0812 さいたま市北区宮原町一丁目490番地
TEL.048-651-0198　FAX.048-651-8599

東京支店
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番9号
アルテビル東神田Ⅱ
TEL.03-3864-0505　FAX.03-3864-0949

静岡出張所
〒422-8036 静岡市駿河区敷地二丁目22番23号
TEL.054-237-4318　FAX.054-237-7648

金沢出張所
〒921-8001 金沢市高畠三丁目190番地
TEL.076-291-6051　FAX.076-291-3343

名古屋支店
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目7番3号
TEL.052-935-6861　FAX.052-937-9214

大阪支店
〒542-0081 大阪市中央区南船場一丁目12番29号
TEL.06-6268-0401　FAX.06-6268-0410

広島営業所
〒730-0847 広島市中区舟入南三丁目13番6号
TEL.082-291-8458　FAX.082-294-9272

福岡支店
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南三丁目2番20号
博多ハッコウビル1F
TEL.092-471-6251　FAX.092-473-0430

鹿児島出張所
〒890-0056 鹿児島市下荒田三丁目42番3号
ラ・ファミーユ騎射場1F
TEL.099-257-9785　FAX.099-256-1273

工場・物流センター

松戸工場
〒271-0064 松戸市上本郷228番地
TEL.047-361-1221　FAX.047-361-5768

松戸ロジスティクスセンター
〒271-0064 松戸市上本郷228番地
TEL.047-361-1220　FAX.047-361-6994

東京物流センター
〒134-0086 東京都江戸川区臨海町四丁目2番1号
TEL.03-3878-6060　FAX.03-3878-6070

大阪物流センター
〒553-0007 大阪市福島区大開四丁目1番18号
TEL.06-6466-6030　FAX.06-6466-6031

グループ会社

株式会社キングビジネスサポート
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番7号
クラウン高橋ビル2F
TEL.03-3864-5646　FAX.03-3864-5647

株式会社Gクラッセ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル
TEL.03-5646-5026～7　FAX.03-5646-5028

株式会社ラドンナ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル
TEL.03-5620-2780　FAX.03-5620-2781

株式会社アスカ商会
〒464-0003 名古屋市千種区新西一丁目2番10号
TEL.052-772-5216　FAX.052-772-7707
[東京ショールーム]
〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目22番1号
代々木1丁目ビル1F
TEL.03-6276-8780　FAX.03-6276-8680